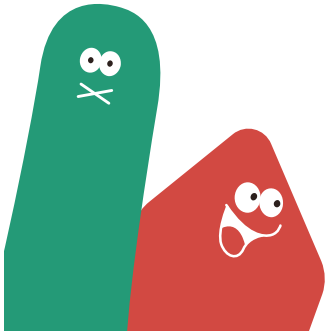
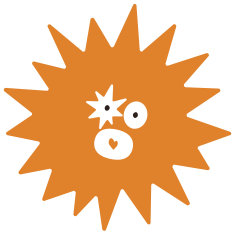
Precious land LFP/102

分譲地 熊本市南区御幸木部1丁目　全5区画



所在地（地番）	熊本市南区御幸木部1丁目921番		
住所（ナビ検索）	熊本市南区御幸木部1丁目10番12号北側		
価格	（1号地）**12,000,000**円～　※別紙価格表をご参照下さい		
交通	熊本バス「桜十字病院前」徒歩約4分（約306.9m）		
地積	【1号地】203.71㎡（61.62坪） 【2号地】221.64㎡（67.04坪） 【3号地】232.94㎡（70.46坪） 【4号地】243.46㎡（73.64坪） 【5号地】244.75㎡（74.03坪）	周辺環境	＊ローソン桜十字病院店→336m ＊御幸小学校→968m ＊木部中央公園→170m ＊マックスバリュ御幸笛田店 →1524m
地目	宅地		
土地権利	所有権		
都市計画	市街化調整区域（法34条11号指定区域）		
用途地域	無指定		
建ぺい率	40%		
容積率	80%		
接道	【北側】公道　幅員9.30m　【東側】公道（二項道路）　幅員4.98m～5.36m		
学校区	御幸小学校　託麻中学校		
法令制限	景観法　航空法		
設備	公営水道　公共下水　九州電力・NTT		
文化財	無し		
私道負担	無し		
現況	宅地造成工事準備中		
引渡し	令和9年1月末日予定（工事状況によって変動します）		
開発区域面積	公簿　1176.00㎡		
開発許可番号	指令（開指）第2026-2106号　令和8年9月24日		
取引態様	売主	備考	※物件の仲介には売主指定の 宅地建物取引業者が 仲介として介入いたします。
広告有効期限	令和8年12月24日		





株式会社ランドフォーメーション
LAND FORMATION

熊本県知事(1)第5594号
〒861-4109　熊本市南区日吉2丁目12番70号
TEL：096-288-6309　FAX：096-288-6329

Precious land LFP/102

熊本市南区御幸木部1丁目　全5区画

LAND FORMATION

全区画建築条件無し

区画	地積	坪数	価格	（坪単価）	予約
1	203.71 ㎡	61.62 坪	12,000,000円	（194,741円）	
2	221.64 ㎡	67.04 坪	12,400,000円	（184,964円）	
3	232.94 ㎡	70.46 坪	12,700,000円	（180,244円）	
4	243.46 ㎡	73.64 坪	12,800,000円	（173,818円）	
5	244.75 ㎡	74.03 坪	12,900,000円	（174,253円）	

備考

※上水道加入金清算金有り。

※下水道受益者負担金 1㎡あたり200円精算有り。

※電柱計画については、協議中となる為、敷地内に電柱等の建柱がなされる可能性があります。

※ゴミ置場については持分5分の1ずつ売買対象として含まれます。

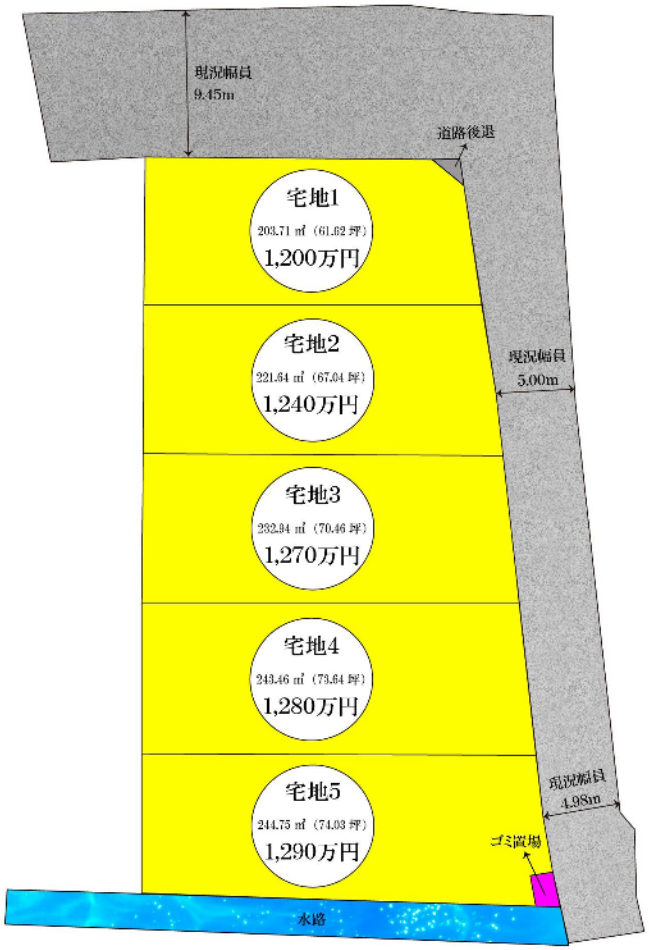
※本物件の仲介には売主指定の宅地建物取引業者が仲介として介入いたしますので、

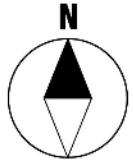
仲介手数料が発生します。〈(3%+6万円) ×税〉

＊1号地　仲介手数料　462,000円
＊2号地　仲介手数料　475,200円
＊3号地　仲介手数料　485,100円
＊4号地　仲介手数料　488,400円
＊5号地　仲介手数料　491,700円

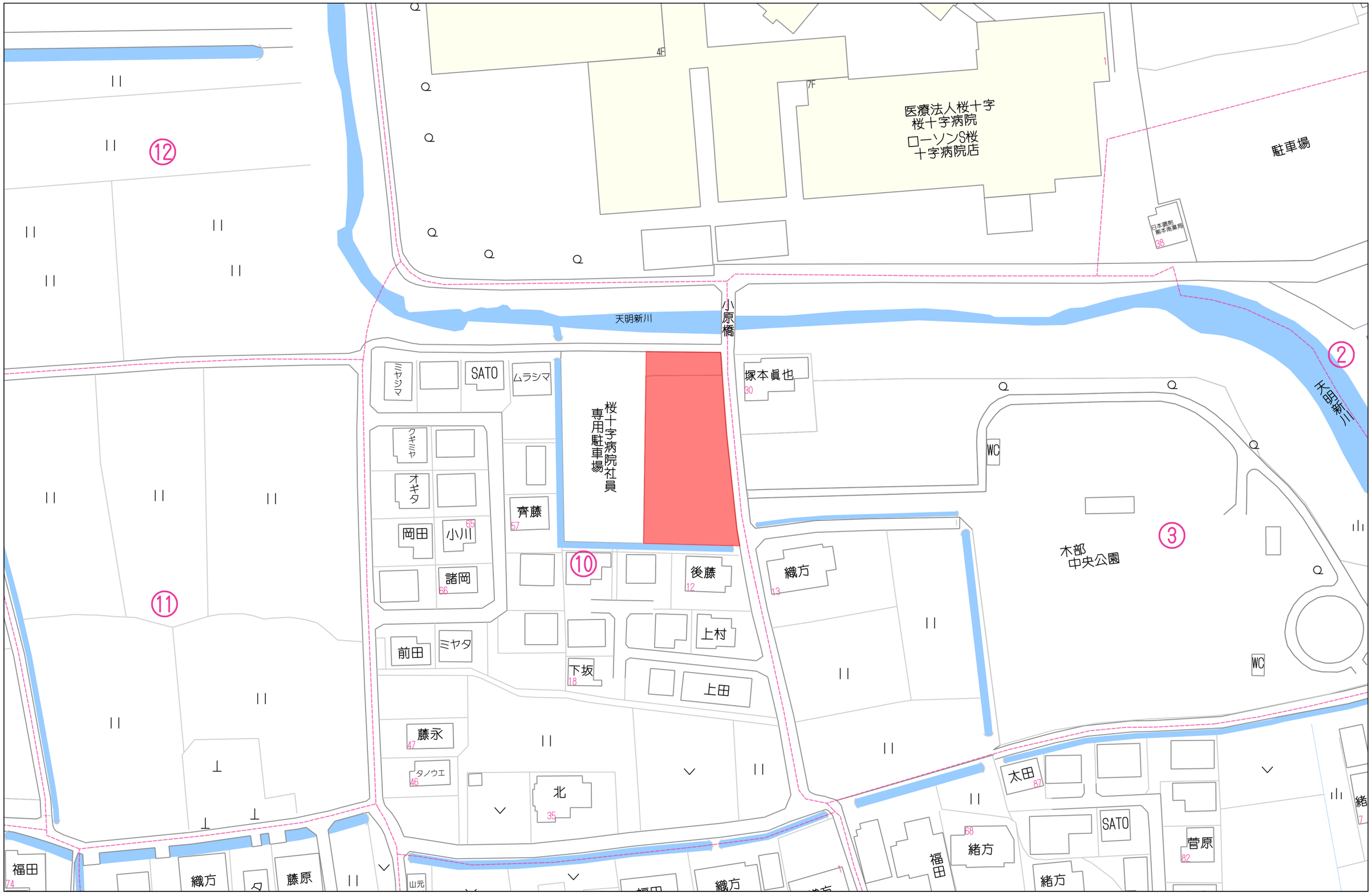
LAND
FORMATION
ランドフォーメーション

南区御幸木部1丁目　全5区画





熊本県熊本市南区御幸木部1丁目10付近

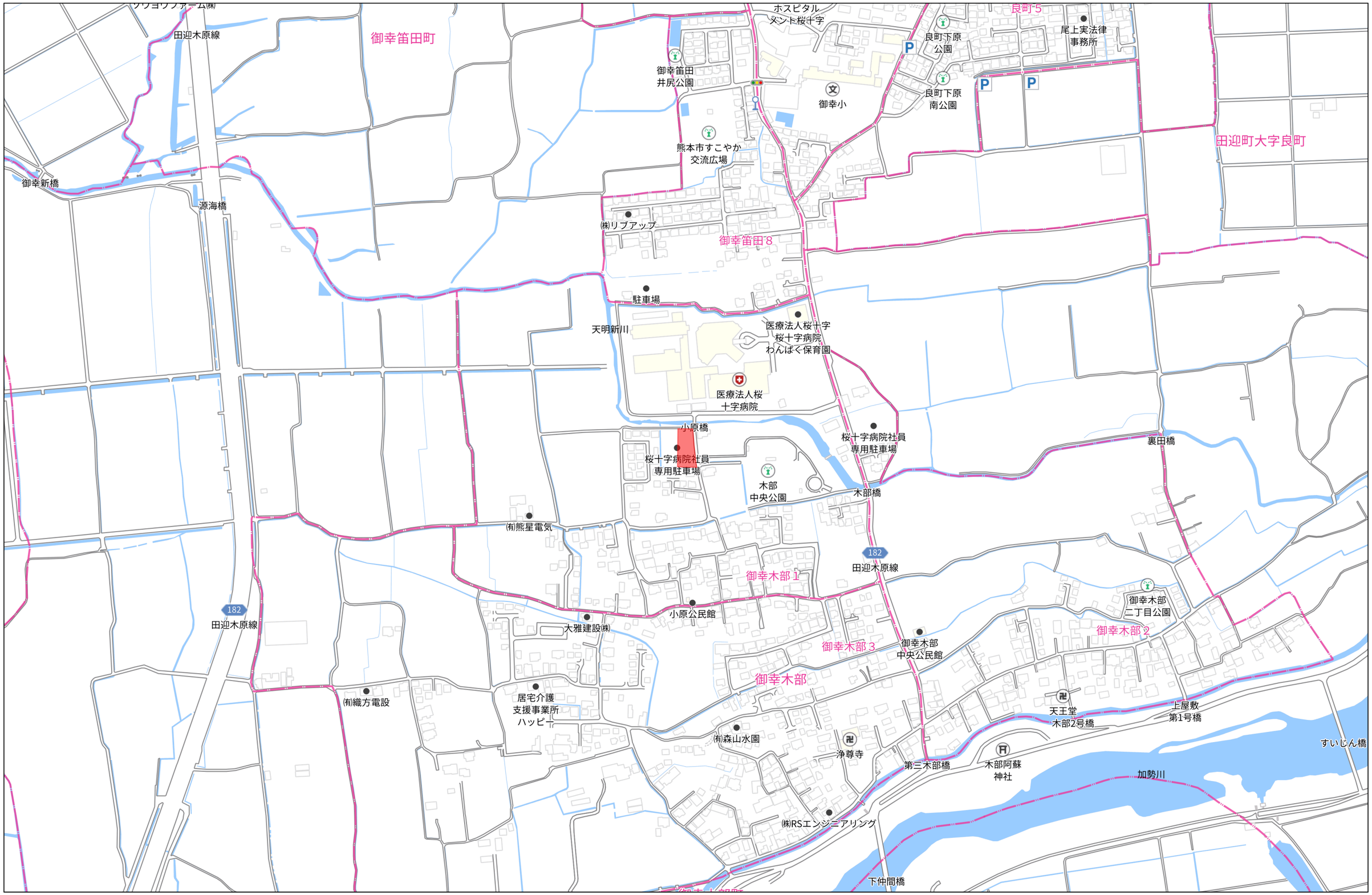


40m

1:1000

Copyright(C)2026 ZENRIN CO., LTD.

禁無断複写複製
株式会社ランドフォーメーション２
P220003234-20261017184703



280m

1:5000

Copyright(C)2026 ZENRIN CO., LTD.

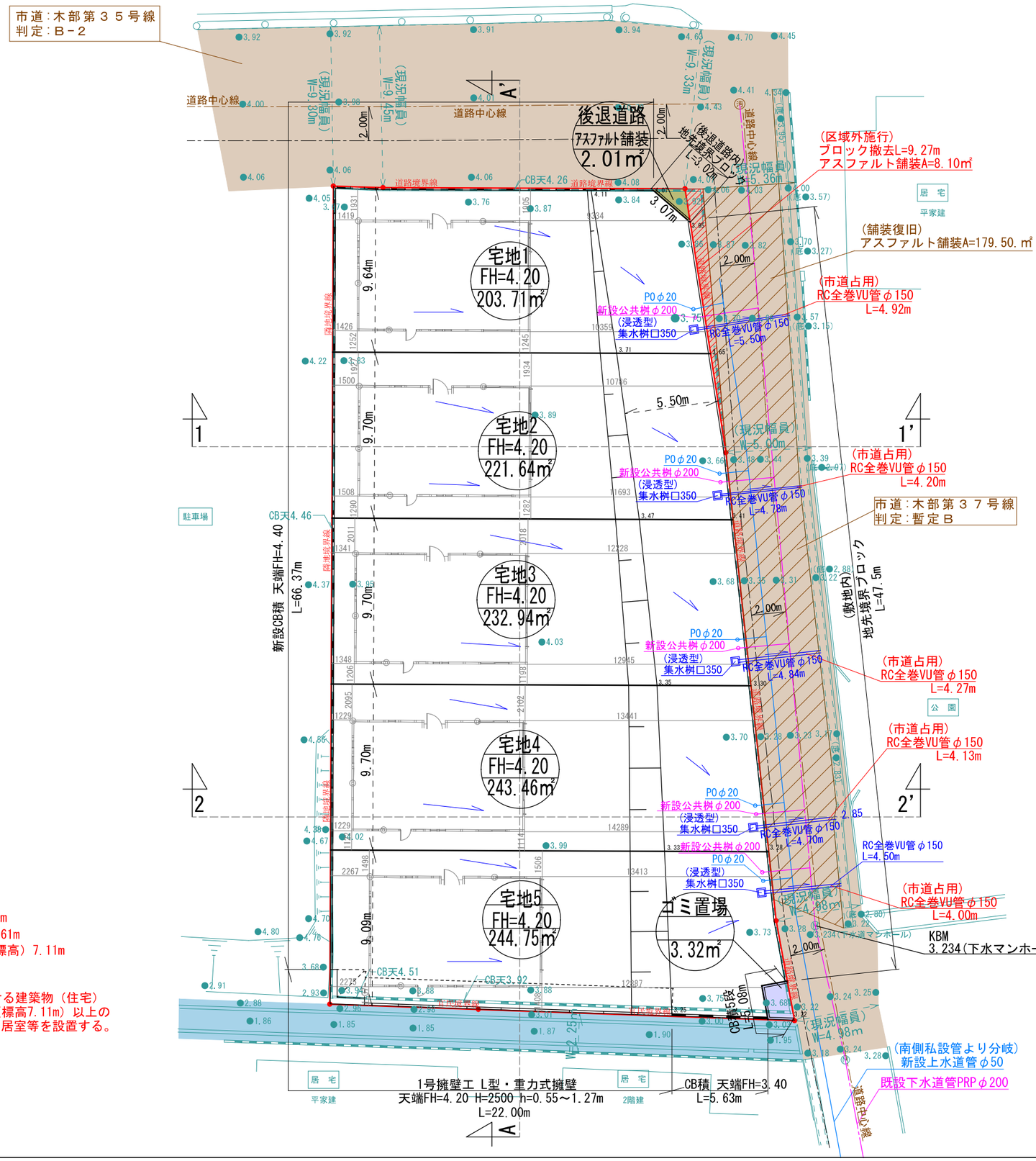
禁無断複写複製
株式会社ランドフォーメーション２
P220003234-20261017184738



500m

Copyright(C)2026 ZENRIN CO., LTD.

禁無断複写複製
株式会社ランドフォーメーション２
P220003234-20261017184811



土地利用計画表				
名　称	色　別	面積(㎡)	比率(%)	備　考
宅　地		1146.50	99.54	平均面積：229.31㎡/5区画
後退道路		2.01	0.17	熊本市管理予定
ゴミ置場		3.32	0.29	
合　計		1151.83	100.00	

市街化調整区域（最低面積200㎡）　建ぺい率:40%以内 容積率:80%以内
※建築時に雨水浸透桝の検討を行う
※今後埋戻等により擁壁設置が必要な高低差(60cm以上、
水路際においては30cm)が発生した場合、基準に適合した擁壁を設置する。

	敷地面積	建築面積	延床面積	建ぺい率	容積率
宅地1	203.71㎡	72.57㎡	108.68㎡	35.62%	53.35%
宅地2	221.64㎡	72.57㎡	108.68㎡	32.75%	49.04%
宅地3	232.94㎡	72.57㎡	108.68㎡	31.16%	46.67%
宅地4	243.46㎡	72.57㎡	108.68㎡	29.82%	44.65%
宅地5	244.75㎡	72.57㎡	108.68㎡	29.66%	44.41%

KBM地点標高 3.50m
KBM地点浸水深 3.61m
KBM地点浸水深（標高）7.11m

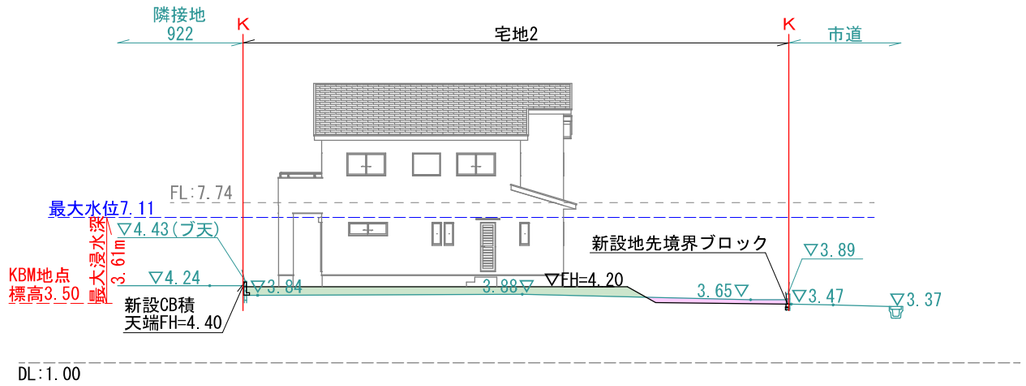
開発区域内における建築物（住宅）
は、想定浸水深（標高7.11m）以上の
部分に避難可能な居室等を設置する。

官民境界立会：令和8年5月20日立会済　南区土木センター総務課亀井氏

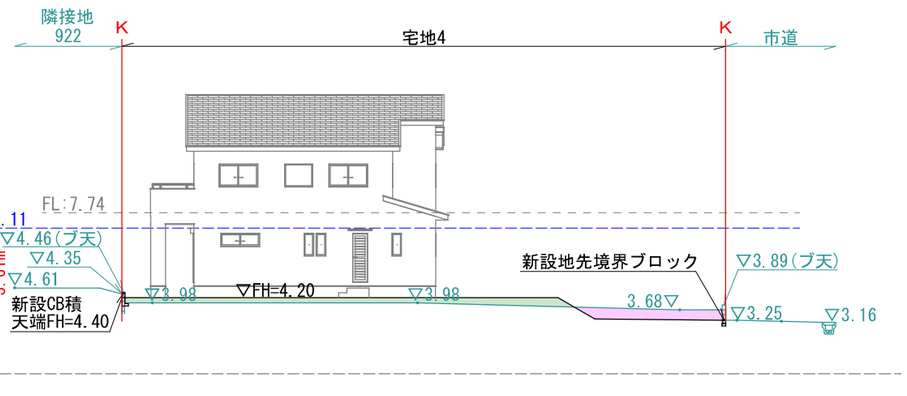
造成計画平面図、給排水施設計画平面図

工事名称	南区御幸木部一丁目造成工事		整理番号
図面名称	土地利用計画平面図		検印 / 設計
申請者名	株式会社ランドフォーメーション		
日　付	2026/09/24	SCALE 1/250	図面番号 2

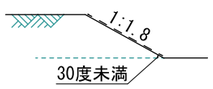
1-1’ 断面図



2-2’ 断面図

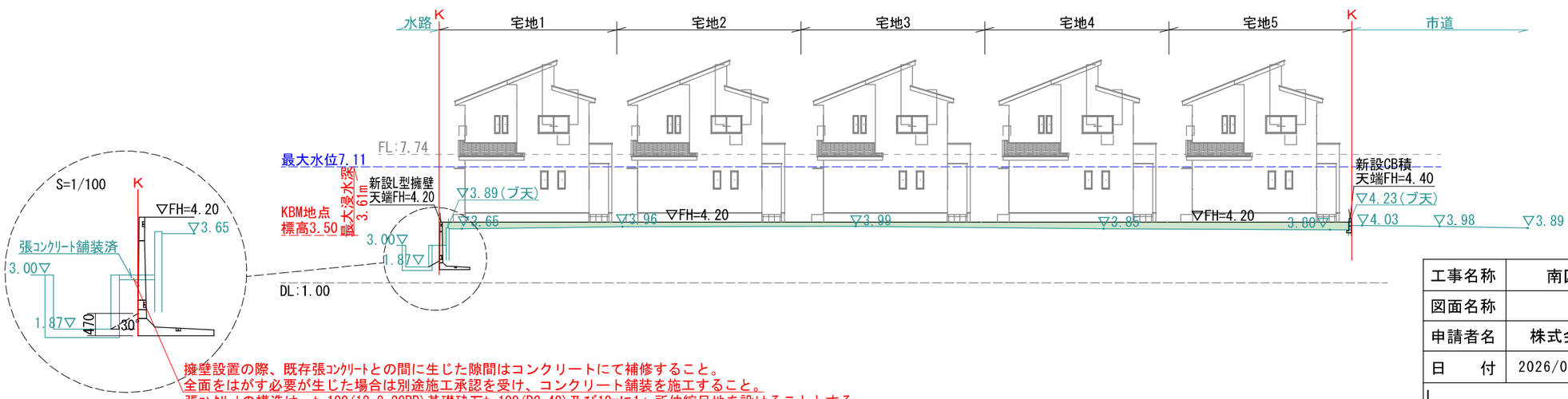


法面標準図



盛　土	
切　土	

A-A’ 断面図

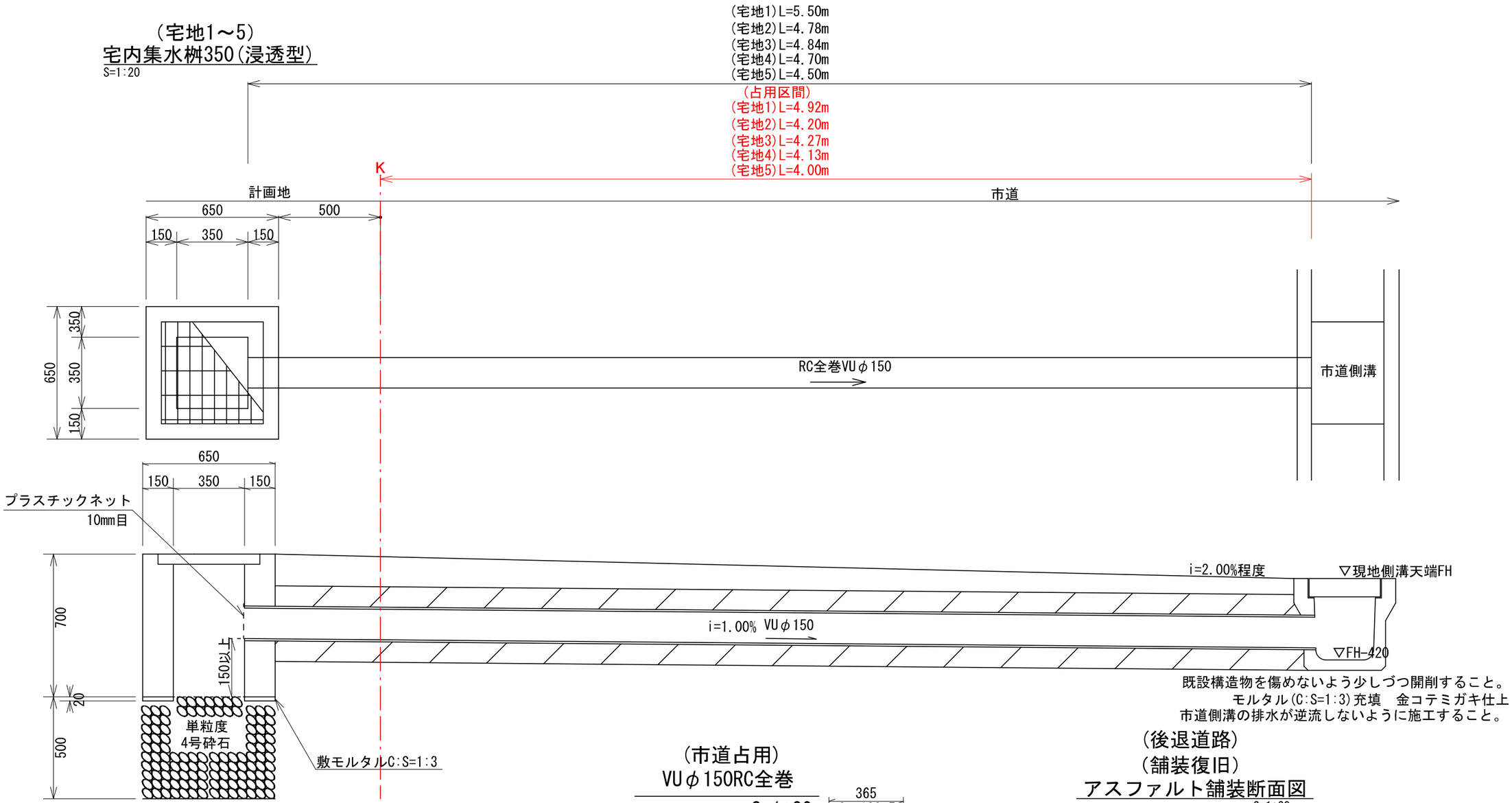


擁壁設置の際、既存張ｺﾝｸﾘｰﾄとの間に生じた隙間はコンクリートにて補修すること。
全面をはがす必要が生じた場合は別途施工承認を受け、コンクリート舗装を施工すること。
張ｺﾝｸﾘｰﾄの構造は、t=100(18-8-20BB)基礎砕石t=100(RC-40)及び10m|に1ヶ所伸縮目地を設けることとする。

※浸水深（標高） 7.11m
開発区域内における建築物（住宅）は、想定浸水深（標高7.11m）以上の部分に避難可能な居室等を設置する。

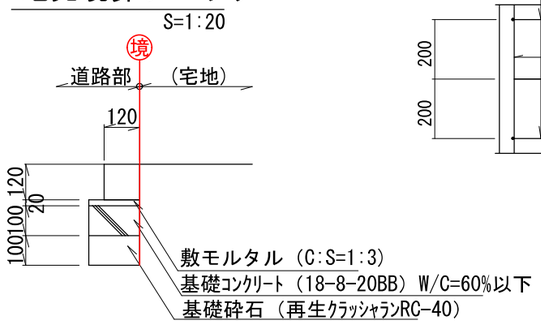
工事名称	南区御幸木部一丁目造成工事			整理番号
図面名称	造成計画断面図			検印 / 設計
申請者名	株式会社ランドフォーメーション			
日　付	2026/08/25	ＳＣＡＬＥ	1/250	図面番号 3

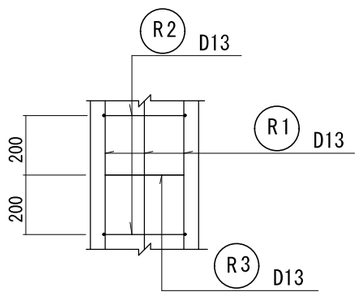
（宅地1～5）
宅内集水桝350（浸透型）
S=1:20



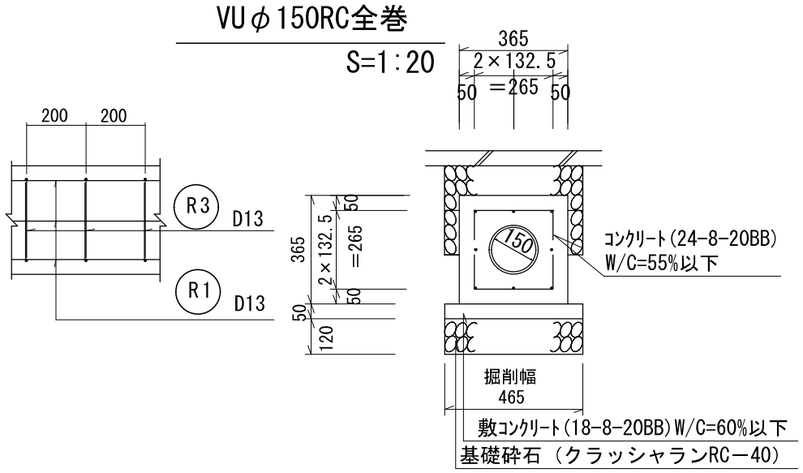
既設構造物を傷めないよう少しづつ開削すること。
モルタル(C:S=1:3)充填　金コテミガキ仕上
市道側溝の排水が逆流しないように施工すること。

（後退道路内）
地先境界ブロック
S=1:20

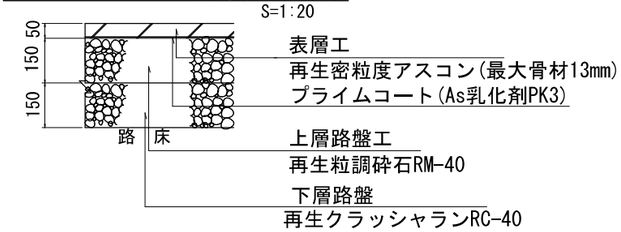




（市道占用）
VUφ150RC全巻
S=1:20



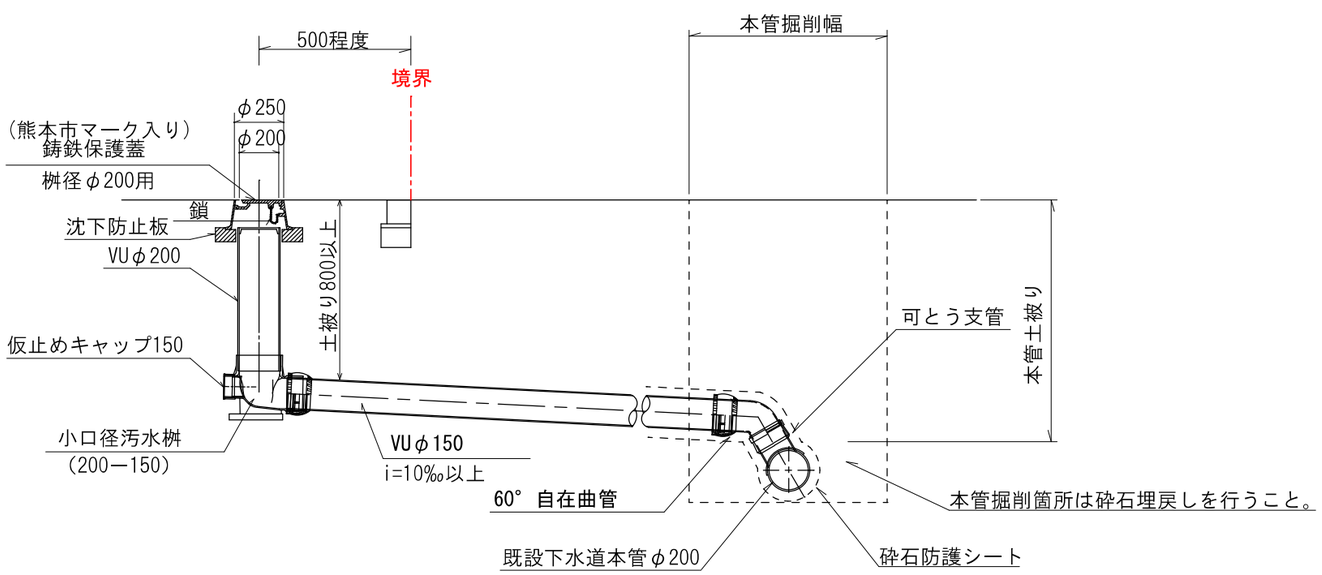
（後退道路）
（舗装復旧）
アスファルト舗装断面図
S=1:20



工事名称	南区御幸木部一丁目造成工事			整理番号
図面名称	排水施設構造図(宅内集水桝)			検印 / 設計
申請者名	株式会社ランドフォーメーション			
日　付	2026/08/25	ＳＣＡＬＥ	図示	図面番号 5

宅地内小口径汚水桝

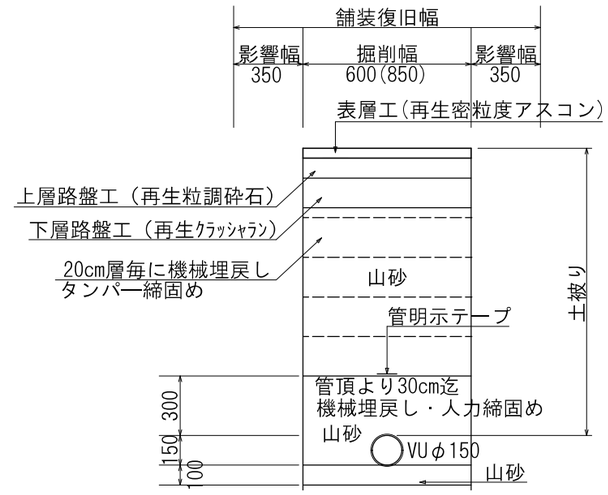
S=1:30



注1）車両乗入部（宅地内の駐車場部）には鋳鉄保護蓋を設置すること。

取付管部埋戻し詳細標準断面図

S=1:30

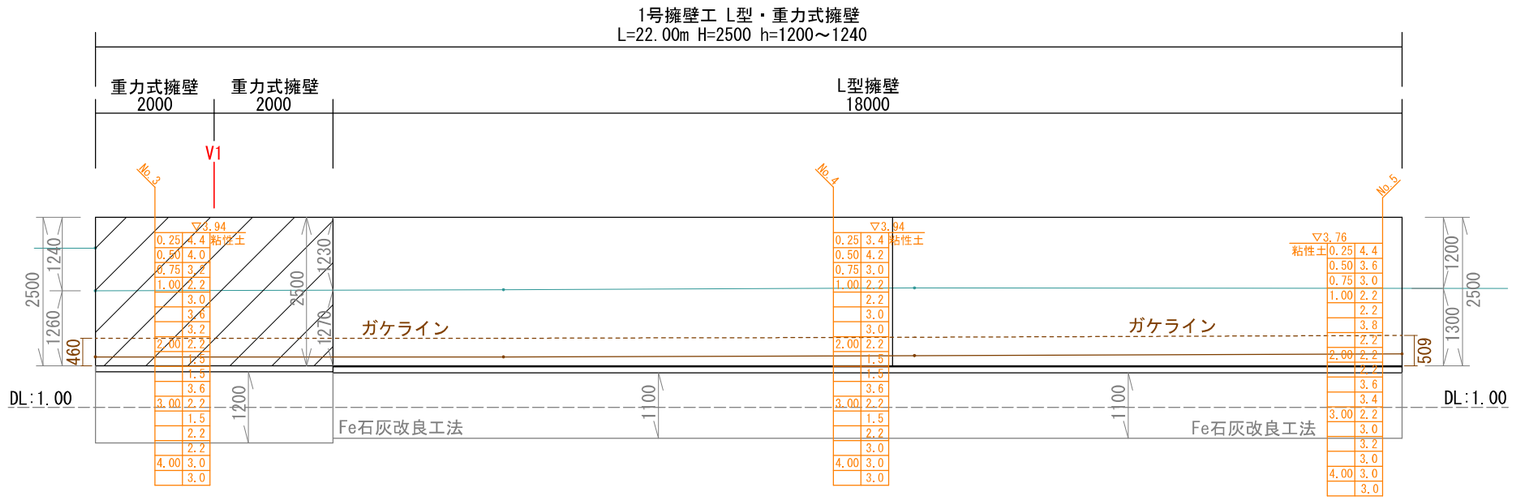


※平均掘削深H=1.5m以上の場合は土留を考慮すること。()内は土留めありの数値。
※下水道施設と他の埋設物の離隔を３００以上とること。

工事名称	南区御幸木部一丁目宅地造成工事			整理番号
図面名称	下水道施設構造図			検印 / 設計
申請者名	株式会社ランドフォーメーション			
日　付	2026/07/13	縮尺	1：30	図面番号 7

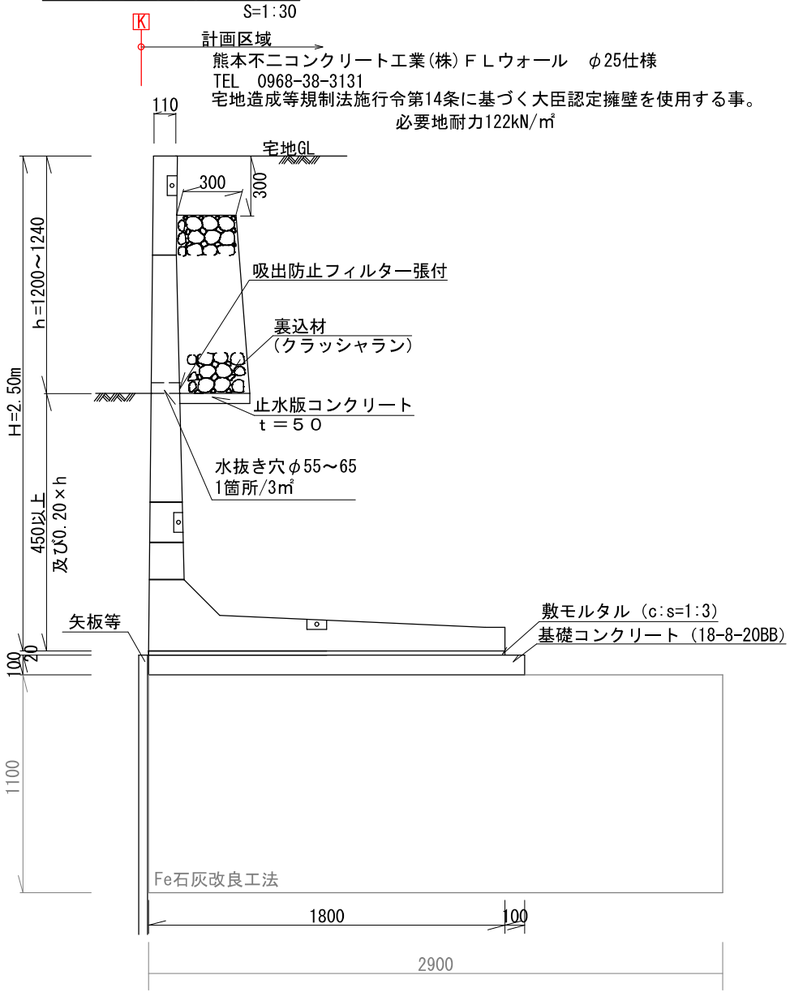
擁壁展開図

S=1/100



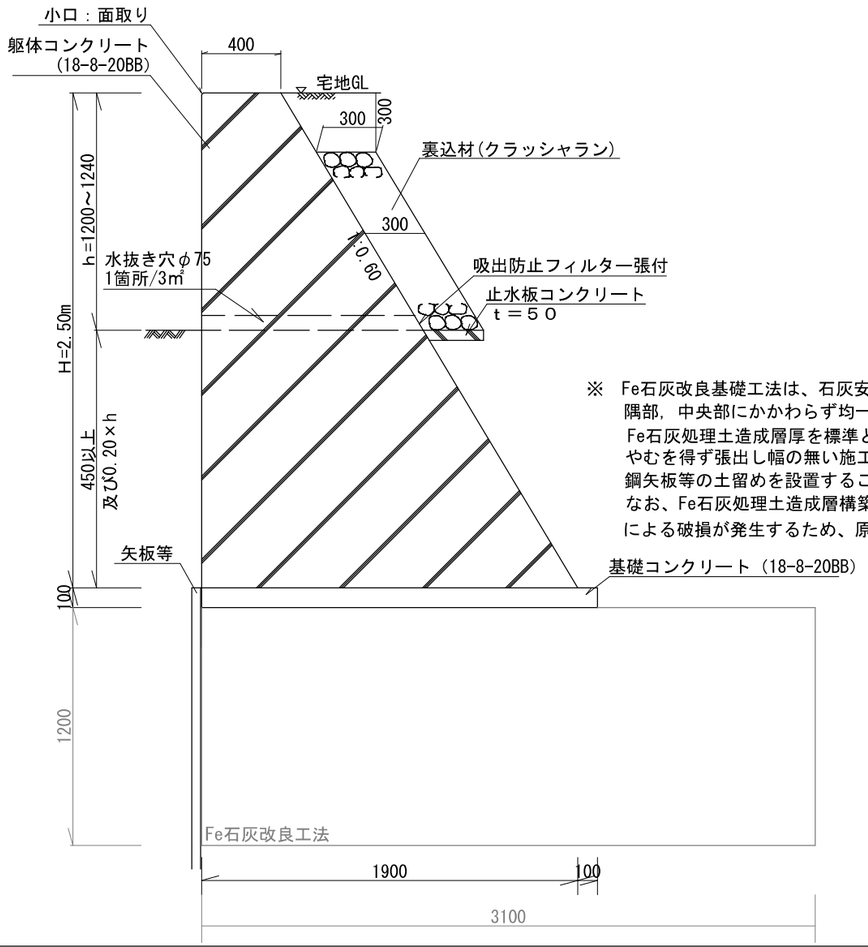
L型擁壁標準断面図

S=1:30



重力式擁壁標準断面図

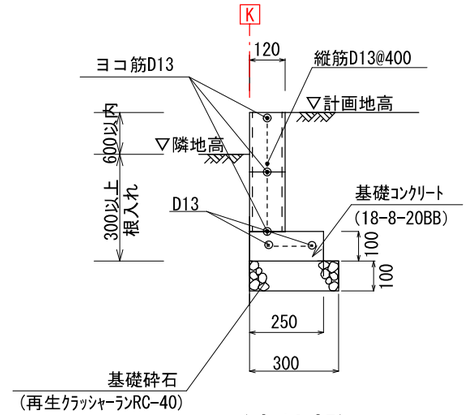
GW36　S=1:30
(6分転び)
必要地耐力127/kN/㎡



※　Fe石灰改良基礎工法は、石灰安定処理土が締固めにより硬化作用を発揮させる工法であることから、
隅部，中央部にかかわらず均一な転圧締固め効果を発揮させる必要があるため、上部構造物基礎面から
Fe石灰処理土造成層厚を標準とした張出し幅が必要である。
やむを得ず張出し幅の無い施工をする場合は、側方移動を抑止し転圧効果を十分発揮させるため、
鋼矢板等の土留めを設置すること。
なお、Fe石灰処理土造成層構築後に鋼矢板等を引き抜くと造成層下面基礎地盤の撹乱や共上がり
による破損が発生するため、原則として鋼矢板等は埋め殺しとする。

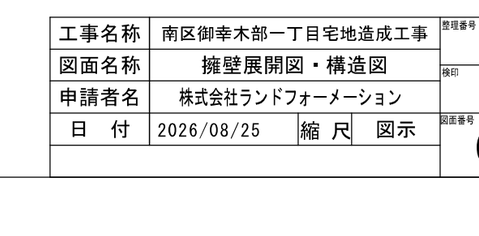
(宅地部) 空洞ブロック積標準断面図

S=1:20

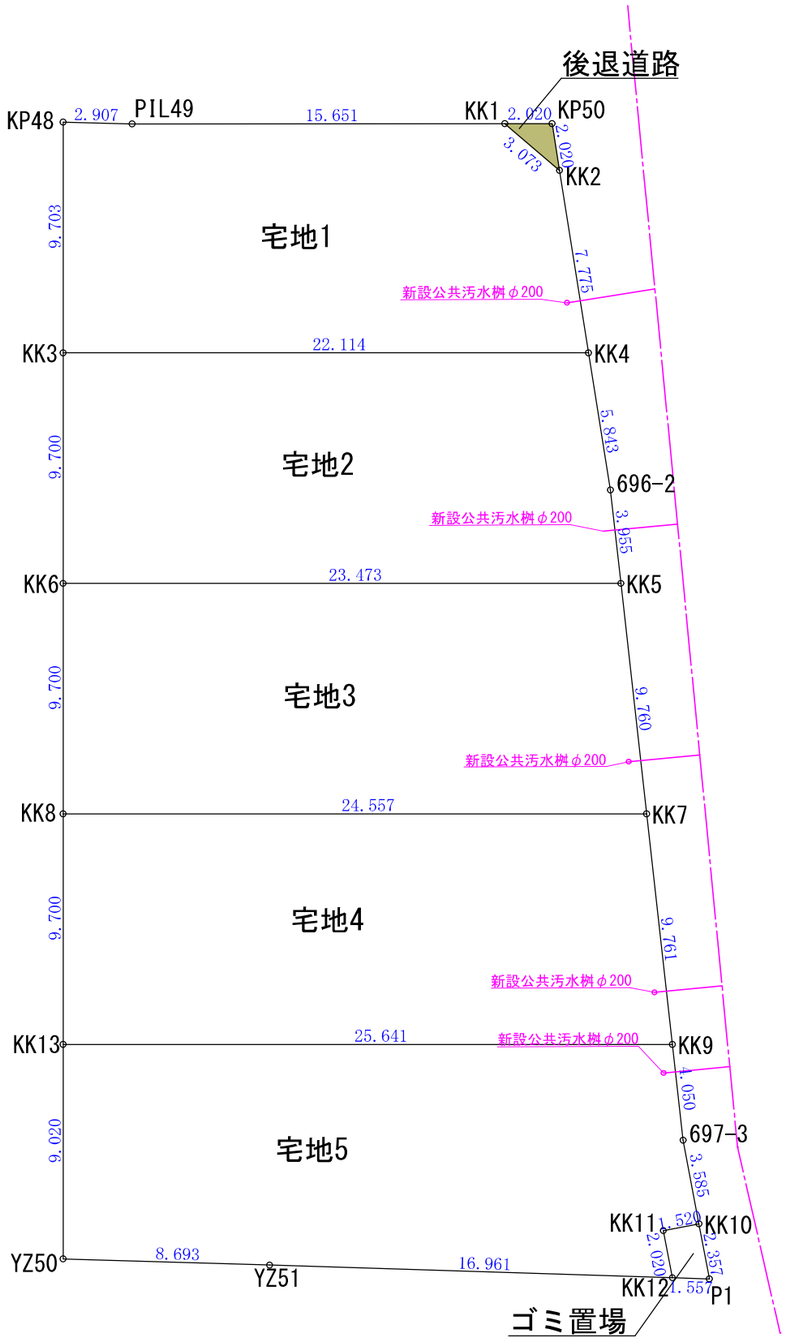


(宅地部) 空洞ブロック積標準断面図

S=1:20



工事名称	南区御幸木部一丁目宅地造成工事			整理番号
図面名称	擁壁展開図・構造図			検印 / 設計
申請者名	株式会社ランドフォーメーション			
日　付	2026/08/25	縮 尺	図示	図面番号 6



従前・新設の別	名　称	色　別	名　称	面　積	備　考
新　設	①		後退道路	2.01㎡	

凡　例	名　称	数　量	備　考
	新設公共汚水桝	5基	φ200

工事名称	南区御幸木部一丁目造成工事			整理番号
図面名称	公共施設新旧対照図			検印 / 設計
申請者名	株式会社ランドフォーメーション			
日　付	2026/08/25	ＳＣＡＬＥ	1/250	図面番号 8

許　可　証

指令（開指）第2026-2106号
令 和 8 年 9 月 24 日

令 和 8 年 9 月 4 日 付け申請の開発行為の許可については、都市計画法（昭和43年法律第100号）第29条第1項の規定により、次のとおり許可します。

熊本市長　大西

開発行為の概要	申請者住所氏名	熊本市南区日吉二丁目12番70号 株式会社ランドフォーメーション 代表取締役　中野　翔太
	開発区域に含まれる地域の名称	熊本市南区御幸木部一丁目921番
	開発区域の面積	公簿　1,176.00 ㎡　実測　1,151.83 ㎡　有効　　㎡
	予定建築物の用途	専用住宅（5区画）
	工事施行者住所氏名	鹿児島県鹿児島市田上八丁目16番15号 株式会社　美喜設備 代表取締役　松ヶ迫　健司
	着手予定年月日	令和8年10月20日
	完了予定年月日	令和9年3月31日
	自己の居住の用に供するもの、自己の業務の用に供するもの、その他のものの別	その他
	法第34条の該当号及び該当する理由	法第３４条第１１号 「法第34条第11号の規定により条例で指定する区域内の開発行為等」
	その他の必要な事項	都市計画法第41条第1項に基づく制限 建ぺい率は４０％以内、容積率は８０％以内、外壁後退距離は１ｍ以上、建築物の高さは１０ｍ以下とする。 都市計画法第34条第11号の区域にある当該開発区域は、一定の浸水想定区域であるため、避難可能な居室等の床の高さを添付の土地利用計画平面図に記載の想定浸水深以上となるよう対策を講じること。 なお、建築物の建築に対して、建築基準法第6条第1項もしくは、同法第6条の2第1項の規定に基づく建築確認申請をする場合は、当該開発許可の土地利用計画平面図及び対策を講じていることが確認できる断面図等を添付又は申請図書に記載すること。 都市計画法第79条に基づく条件 別紙のとおり

備考
1　この処分に不服がある場合は、処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、熊本市開発審査会に対して審査請求をすることができます。ただし、処分があった日の翌日から起算して１年を経過した場合は、この限りではありません。
2　この処分については、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、熊本市を被告として（訴訟において熊本市を代表する者は熊本市長となります。）、処分の取消しの訴えを提起することができます（なお、処分の日の翌日から起算して１年を経過した場合は、この限りではありません。）。ただし、審査請求をした場合には、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に処分の取消しの訴えを提起することができます（なお、当該審査請求に対する裁決があった日の翌日から起算して１年を経過した場合は、この限りではありません。）。

別　紙

【施工上の注意事項】

1　施工にあたっては、施工中の雨水の流出や土砂の流出防止のため、まず対策工事等を行うこと。
2　作業中及び作業終了後において、バリケードや立入り禁止等の安全標識を設置して事故防止に努めること。
3　建設機械による工事中の振動・騒音には留意し、運搬車両による土砂及び資材の飛散等予防対策を講じ、飛散等があった場合は、清掃などの環境対策を速やかに行うこと。
4　写真管理は構造物及び施工段階ごとに行い、特に工事完了後に目視出来ない部分は、形状、寸法が明確に分かるように撮影すること。

【公共施設の管理引継ぎ】

1　３２条協議により、熊本市が管理予定者となる次の公共施設については、分筆後、完了届と同時に登記承諾書等の必要書類を添付し管理引継ぎ申請を行うこと。
　公共施設　：　道路・下水道
2　抵当権等がある場合は抹消登記を行うこと。

【擁壁施工時の注意事項】

1　地盤改良を計画している場合
① 地盤改良の施工に先だって、構造物の断面形状及び基礎底面位置が変化する毎に、支持地盤の土質を確認すること。
② 設計時の土質と異なる場合は、再度、土質調査を行ったうえで地盤改良等の適切な措置を講じることとし、法第35条の2第1項（変更許可）の対象とする。
③ 地盤改良後、基礎の施工に先だって、擁壁の断面形状及び基礎底面位置が変化する毎に、原位置試験を実施し、必要地耐力を満たしていることを確認すること。
④ 上記の原位置試験を実施する場合、位置及び個所数等については、試験前に開発指導課と協議し決定すること。

【その他】

1　区域外施工については、当該開発行為の検査対象とする。

様 式 8－2（細則要綱様式第２２号　細則第３４条第１項１号関係）

公共施設管理者開発行為同意書

南消警発第０００００６２号
令和８年（２０２６年）７月１０日

許可申請者
住所（所在地）　熊本市南区日吉二丁目１２番７０号
氏名（名称及び代表者氏名）　株式会社ランドフォーメーション
代表取締役　中野　翔太　様

管理者　名称　熊本市長
代表者職氏名　熊本市長　大西

次の開発行為については、都市計画法第３２条第１項の規定により同意します。

1	関係する公共施設	消防の用に供する貯水施設
2	開発行為許可申請者 住所（所在地） 氏名(名称及び代表者氏名)	熊本市南区日吉二丁目１２番７０号 株式会社ランドフォーメーション 代表取締役　中野　翔太
3	開発区域の地名及び地番	熊本市南区御幸木部一丁目921番
4	開発区域の面積	公簿　1176　㎡ 実測　1151.83㎡
5	開発行為の目的	専用住宅（５区画）
6	同意の内容	当該申請地は、消防水利の基準に適合する既設防火水槽（4008-158（40ｔ））の有効範囲内（ｒ＝120m）に含まれているため、消防水利については支障ない。

様式第４号（第８条関係）

開発水利（同意・~~協議~~）審査書

申請者	住　所	熊本市南区日吉二丁目１２番７０号			
	氏　名	株式会社ランドフォーメーション　代表取締役　中野　翔太			
開発区域に含まれる地域の名称		熊本市南区御幸木部一丁目921番	開発面積	1,151.83　㎡	
			用途地域	法第３４条１１号条例指定地域	

消防水利の種別		既　設	新　設	有効範囲	
消火栓	φ１５０mm以上	基	基	m	φ　mm
	φ１５０mm未満	基	基	m	φ　mm
防火水槽	４０立方メートル級	1　基	基	120　m	φ　mm
	２０立方メートル級	基	基	m	φ　mm

条　件	当該申請地は、消防水利の基準に適合する既設防火水槽（4008-158（40ｔ））の有効範囲内（ｒ＝120m）に含まれているため、消防水利については支障ない。
その他 （行政指導）	

（消防水利新設時）通知記入欄	宛先	内容	年　月　日	担当者
	給排水設備課 （配水管工事に係る場合）	協議回答通知	年　月　日	
		完成通知	年　月　日	
	開発指導課	完成通知	年　月　日	
	局警防課	完成通知	年　月　日	

備　考	受取記入欄
	年　月　日

南 土 発 第 324 号
令和8年(2026年)8月13日

株式会社ランドフォーメーション
代表取締役　中野翔太　様

熊本市長　大 西 一 史
（南区土木センター総務課扱）

開発行為に伴う公共施設管理者の同意・協議について

このことについて、同意・協議がととのいましたので送付いたします。

様式８－２
細則様式第５号（第４条関係）

公共施設管理者開発行為同意書

南 土 発 第 324 号
令和8年(2026年)8月13日

許可申請者
住　所　熊本市南区日吉二丁目12番70号
氏　名　株式会社ランドフォーメーション
代表取締役　中野翔太　様

管 理 者
熊本市長　大 西 一 史

次の開発行為については、都市計画法第３２条第１項の規定により同意します。

1 関係する公共施設	市道・法定外河川
2 開発行為許可申請者 住所（所在地） 氏名（名称及び代表者氏名）	熊本市南区日吉二丁目12番70号 株式会社ランドフォーメーション 代表取締役　中野翔太
3 開発区域の地名及び番地	熊本市南区御幸木部一丁目921番
4 開発区域の面積	公簿　1,176.00 ㎡ 実測　1,151.83 ㎡
5 開発行為の目的	専用住宅(5区画)
6 同意の内容	・雨水排水施設の接続・放流 ・市道からの乗入口設置について ・上下水道施設接続のための道路敷掘削について ・区域外施工について ・後退道路の構造について ・上記に伴う工事を行うこと
7 同意の条件	別紙のとおり

公共施設管理者開発行為同意書

南区土木センター総務課管理財産班

同意の条件

1. 申請地に隣接する市道・法定外河川には、境界標(それに伴う測量鋲)が埋設されているため、これらに損傷なきよう十分注意して施工すること。
   開発工事により境界標(それに伴う測量鋲)が損失する場合は、事前確認を行い開発工事後に復元を行うこと。詳細については、南区土木センター総務課管理財産班と事前に打ち合わせること。

2. 開発に関する工事により周辺道路に土砂等が飛散した場合は速やかに清掃を行い、また、道路を破損したときは原形に復旧すること。

3. 工事によりトラブルが発生した場合は、申請人が責任を持って対応し処理すること。

4. 工事により南側水路の張コンクリートが損傷した場合、西南部農業振興センター基盤整備課と協議のうえ、復旧を行うこと。

都市計画法第32条に伴う開発行為同意書

R8- 13

熊本市 南区役所 区民部 南区土木センター 総務課 占用班

同意条件

道路の占用について

・ 上下水道管及び雨水排水管等、市管理の道路への占用が必要な場合は、道路法第32条に基づき事前に道路占用許可申請を行うこと。フェンス等設置のために一時道路の掘削が必要な場合も同様である。

道路の施行承認について

・ 側溝蓋改修や横断暗渠敷設等により道路の構造等を変更する場合は、道路法第24条に基づき事前に道路工事施行承認申請を行うこと。

法定外公共物使用（占用）について

・ 通路橋、上下水道管及び雨水排水管等、市管理の法定外公共物への占用が必要な場合は、事前に法定外公共物使用許可申請を行うこと。フェンス等設置のために一時法定外公共物の掘削が必要な場合も同様である。

法定外公共物使用（施行承認）について

・ 側溝蓋改修や横断暗渠敷設等により法定外公共物の構造等を変更する場合は、事前に法定外公共物工事施行承認申請を行うこと。

排水について

敷地内の雨水の放流については、申請敷地内に沈殿桝（吐出口にはプラスチックネット等取り付）を設置及びその桝を経た排水を放流することとし、排出口はφ１５０mm以下とすること。

・ また、その箇所は一箇所とし（ただし、合併浄化槽からの排水は除く）、市が管理する道路（法定外道路含む）の横断部については安易に損傷しないように管路はコンクリート巻立（有筋）等の措置を行うこと。

・ 排水口の箇所数や口径について上記基準外の適用が必要な場合は、南区土木センター総務課占用班と協議を行うこと。

・ 雨水の排水管接続については、接続先が下水合流管の場合は管理者（下水道維持課）と事前に協議を行うこと。

関係人への説明・協議について

法定外公共物の使用、掘削及び構造等の変更がある場合は、地元農区長及び自治会等の利害関係者に十分説明を行い、都市計画法第２９条に基づく許可申請までに同意を受けること。

・ また、申請の際は、利害関係者が記名押印した協議書を添付すること。（協議書を準備できない場合は、その理由書を提出すること）

工事の施工・調整について

・ 上下水道管及び雨水排水管等、占用物件の埋設については同時期に施工するよう調整を図ること。また、仮復旧は確実に行い、本復旧を速やかに実施すること。

・ 舗装の本復旧範囲については、「道路占用工事等に伴う道路掘削時の復旧幅指示要領」に基づき設定・施工し、仮復旧箇所が近接する場合は全てを包括するよう施工すること。

・ 管路が水路又は側溝を横断する場合、下越しを原則とする。それ以外の場合は、南区土木センター総務課占用班と協議を行うこと。

その他

・ ゴミ置き場から道路側溝への排水施設を設けてはならない。

・ 市に帰属予定の道路後退部に設置された汚水桝等、占用許可の対象とならない物件は移設若しくは撤去すること。

公共施設管理者開発行為同意書

南区土木センター維持課道路第1班

同意の条件

【区域外施工について】

1. 道路管理者に引き継ぐ予定の公共施設等については、道路法第24条の規定に基づき、必要に応じて承認を受けること。ただし、承認を受けていない場合は、引継ぎ等の検査を受けられないものとする。

2. 上下水道管路布設箇所、構造物際の転圧は沈下が生じないよう入念に施工を行うこと。

【施工について】

3. 開発区域内外問わず、水溜り等が発生しないように施工すること。

4. 土砂等を搬出入する際に道路に飛散したときは速やかに清掃を行うこと。また、道路を破損した場合は原形に復旧すること。

【その他】

5. 開発にあたっては、地元との調整を十分に行いトラブルの防止に努めること。

6. 指示のない事項については、熊本市開発申請の手引きを参考にすること。

公共施設管理者開発行為同意書

熊本市農水局西南部農業振興センター基盤整備課

同意の条件

1. 法定外水路への占用、掘削、構造等の変更、排水接続等の際には、地元農区長、土地改良区等、利害関係者と協議を行うこと。

2. 別紙協議申請図書（規格・寸法等）のとおり施工されずに検査時に発覚した場合は速やかに改修すること。

3. 法定外公共物の構造等を変更する場合は、事前に法定外公共物工事施工承認申請を行うこと。

4. 法定外公共物への占用が必要な場合は、事前に法定外公共物使用許可申請を行うこと。

5. 竣工書類において、完了検査時に確認出来ない部分については、十分に写真管理を行い計測等確認出来るようにすること。

6. 法定外財産を破損した場合は原形復旧すること。

7. 南側水路の既設張コンクリートが掘削等に支障がある場合は、撤去し原形復旧すること。
   張コンクリートの構造については t＝10ｃｍ(18-8-20BB)、基礎砕石 t＝10ｃｍ（RC-40）、また、水路側に横断勾配（2%）を設け水が溜まらないように施工し仕上げについてはホウキ目施工とすること。
   L型擁壁の施工方法が決定したら事前に図面を提出すること。

8. 張りコンクリートについて、10mに１箇所以上目地材を設置すること。

9. 水路に不要となる既存の排水管については管を撤去すること。

様　式　8-2
細則様式第５号（第４条関係）

R8-051

公共施設管理者開発行為同意書

熊　下　維　発　第　411　号
令　和　8　年　(2026　年　)8　月　10　日

開発許可申請者

住所（所在地）　熊本市南区日吉二丁目12番70号

氏名（名称及び代表者氏名）　株式会社　ランドフォーメーション
代表取締役　中野 翔太　　様

管理者　名称　熊本市上下水道事業管理者
三島　健一　熊本市上下水道事業管理者之印

次の開発行為については、都市計画法第３２条第１項の規定により同意します。

１．関係する公共施設	下水道
２．開発行為の申請者住所及び氏名	熊本市南区日吉二丁目12番70号 株式会社　ランドフォーメーション 代表取締役　中野 翔太
３．開発区域の地名及び地番	熊本市南区御幸木部一丁目921番
４．開発区域の面積	(公簿)　1,176.00　㎡　　(実測)　1,151.83　㎡
５．開発行為の目的	専用住宅(5区画)
６．同意の内容	・公共下水道への接続及び構造について

R8-051

同 意 条 件

熊本市上下水道局下水道維持課

1．　公共下水道を使用する為に必要な工事及び諸手続きは、熊本市の基準及び関係法令を遵守し、すべて申請人で行うこと。

2．　公共下水道への流入は、汚水及び雑排水のみとし、雨水の流入はしないこと。

3．　公共下水道への接続に伴う下水道法第１６条及び第２４条の許可申請は、この同意をもって許可とする。

4．　開発区域前面の道路を掘削する場合は、道路管理者及び所轄警察等の許可を得ること。尚、道路管理者等の許可については、道路占用許可・法定外使用の申請手続依頼書を工事着工の15日前までに、上下水道事業管理者に提出すること。

5．　本工事に起因して上下水道事業管理者若しくは第三者に損害を与え、また第三者から苦情があった場合には、申請者は一切の責任を負わなければならない

6．　**既設下水道管へ接続する新設下水管・マンホール・小口径汚水桝については、開発検査終了後、熊本市上下水道事業管理者が無償譲渡を受けるものとする。また、小口径汚水桝蓋ついては熊本市型（荷重掛る部分には熊本市防護蓋）とする。**
尚、下水道本管と取付管との接続部分には、耐震性支管継手を設置すること。

7.　工事が完了したときには、出来形図【位置図・下水道出来形平面図・縦断図・構造図・道路占用許可書（写）を提出すること（下水道出来形平面図は公共桝の出来形も記入）。また、出来形図に関しては、ＣＤによる電子媒体（形式ＴＩＦ・ＰＤＦ・ＤＸＦのいずれかで保存）を併せて提出すること。】**又、道路管理者へ提出する道路工事竣工届も提出すること。**
尚、出来高図作成において、新設下水道管の管底高及び地盤高を、接続する既設下水道管の上流人孔管底高（下流管口側）を基準高（下水道台帳図値）とした換算値により記入すること。

8．　公共桝に接続する排水設備（内径の１２０倍をこえない範囲で桝を設けること）については、熊本市下水道条例に基づき排水設備指定工事店から排水設備等計画確認申請書を、給排水設備課（公益財団法人　熊本市上下水道サービス公社窓口）へ提出し確認を得て、工事着工すること。また、管理区分を明確にするために、中間桝及び宅地内小口径汚水桝の蓋は、熊本市型を使用しないこと。なお、工事完了後５日以内に工事完了届を提出し、検査を受けること。

9．　**区域外流入分担金の賦課状況については、給排水設備課に確認すること。**

様式9-2
細則様式第6号（第4条関係）

管理予定者との協議経過書

開発区域の名称	熊本市南区御幸木部一丁目921番
公共施設の名称	後退道路

協議項目	協議内容	協議結果（条件）
設計	別紙図面のとおり	別紙のとおり
管理方法	熊本市	別紙のとおり
土地の帰属	熊本市	別紙のとおり
費用の負担	申請人	申請人
その他		別紙のとおり

協議 年月日 南土発第324号 令和8年8月13日	開発許可申請者 住所(所在地) 氏名(名称及び代表者氏名)	熊本市南区日吉二丁目12番70号 株式会社ランドフォーメーション 代表取締役 中野翔太
令和 年 月 日	管理予定者 名称 代表者職氏名	熊本市長 大西一史

管理予定者との協議経過書

南区土木センター総務課管理財産班

協議結果（条件）

－　公共施設新旧対照図　図上　－

［　管　理　］

1.　「後退道路」については市道の拡幅部分であるため、熊本市管理とする。
　熊本市管理となる公共施設については工事完了後、分筆、地目変更（公衆用道路）及び抵当権抹消登記を行った後、熊本市に帰属申請をすること。
　完了公告の翌日において熊本市管理とする。

［　帰　属　］

1.　「後退道路」については、上記により完了公告の翌日において、都市計画法第４０条第２項の規定に基づき熊本市に帰属する。

［　その他　］

1.　熊本市管理となる「後退道路」に接したすべての地権者から境界確認書の提出を行うこと。様式等については、南区土木センター総務課管理財産班と協議を行うこと。

2.　熊本市管理となる「後退道路」の官民境界には、境界標を設置することとする。境界標は市有地から民有地に向かって明示し、コンクリート構造物（コンクリート舗装）は「35㎜、2穴（アンカーピン2本）」の製品を、アスファルト舗装は「60㎜、アンカー付」の製品を使用すること。
　完了検査の際、使用されている境界標が間違っていることが判明した場合は、申請人の負担で再設置すること。なお、境界標の種類は「市道界」とする。

3.　境界標設置に際し、事前に南区土木センター総務課管理財産班と打ち合わせを行うこと。なお、境界標設置は地積測量図に明記されている境界点すべてに市有地側から境界標を設置すること。
　境界標（金属板、コンクリート杭等）については、申請人購入とする。

4.　帰属申請を行う際の提出書類は、（1）開発行為による公共施設の帰属申請書（2）申請人の印鑑登録証明書（3）資格証明書（4）登記承諾書兼登記原因証明情報（5）位置図（6）字図（7）公共施設新旧対照図（8）土地利用計画平面図（9）写真・写真撮影方向図（10）都市計画法３２条同意書・協議経過書の写し（11）帰属部分の地積測量図（12）抵当権抹消後の全部事項証明書

5.　「後退道路」については、路面上に電柱、ゴミ箱等の障害物の設置は原則として認めません。なお、既存電柱が支障する場合も原則として認めません。

様式9-2
細則様式第6号(第4条関係)

管理予定者との協議経過書

開発区域の名称	熊本市南区御幸木部一丁目921番
公共施設の名称	下水道

協議項目	協議内容	協議結果(条件)
設計	別紙図面のとおり	**別紙図面のとおり**
管理方法	熊本市	**同意条件No 6 に記載**
土地の帰属	熊本市	**道路管理者と協議のこと**
費用の負担	申請人	**申請人**
その他		**出来形図提出後、検査を行う**

協議 年月日	開発許可申請者 住所(所在地) 氏名(名称及び代表者氏名)	熊本市南区日吉二丁目12番70号 株式会社ランドフォーメーション 代表取締役 中野翔太
令和 年 月 日	管理予定者 名称 代表者職氏名	熊本市中央区水前寺6丁目18番45号 熊本市 上下水道事業管理者 三島健一

熊本市上下水道事業管理者之印

地盤調査報告書

南区御幸木部一丁目造成工事に伴う地盤調査

株式会社　ランドフォーメーション　様



地盤調査概要

南区御幸木部一丁目造成工事に伴う地盤調査

▶ はじめに

このたびは、地盤調査のご依頼をいただきまして、誠にありがとうございます。
今回の地盤調査の結果を本報告書にてご報告いたします。本報告書にてご提案している基礎工法は、既存情報の資料調査結果、敷地周辺の現地踏査結果、および現地の地盤調査結果に基づき総合的に判断して最適と考えるものです。

すてきな住まいづくりのために、ぜひ本報告書をご利用いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

物件所在地： 熊本県熊本市南区御幸木部1丁目地内



地盤調査日： 2026年5月13日

依頼会社名： 株式会社　ランドフォーメーション　様

調査会社名：

地盤調査概要

▶ 地盤調査手順

地盤調査

資料調査

地盤調査を行う前に調査地周辺の地形図、地質図、地盤図、航空写真、災害記録、近隣地盤調査データなどの既存資料を収集し、広域的・総合的な地盤状況を把握します。



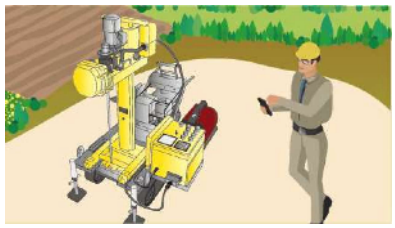
現地踏査

資料調査の結果と調査地内の状況や周辺状況を比較しながら、地盤調査データだけでは把握できない不同沈下の可能性を探ります。



現地測定

調査地の地盤の硬さや地盤補強時の支持層の確認など判定・解析・設計に必要な情報を収集するために行います。



▶ 現地測定内容

測定	最終深度	高低差	孔内水位
001	10.00m	-0.66m	2.00m
002	7.05m	-0.42m	2.00m
003	20.00m	-0.47m	2.00m
004	10.00m	-0.50m	2.00m
005	6.55m	-0.65m	2.00m

測定	最終深度	高低差	孔内水位

現地踏査結果

既存資料	周辺調査データ	SWSデータ	□あり	■なし	ボーリングデータ	□あり	■なし
	地図データ	地形図	■あり	□なし	旧地形図	□あり	■なし
	地形・地質データ	地形分類図	□あり	□なし	表層地質図	■あり	□なし

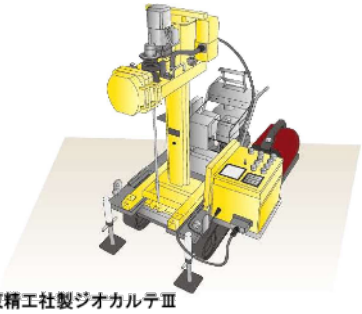
地形観察	周辺地形	地形区分	□丘陵地 □台地・段丘 □平坦化地 □崖錐 □扇状地 □自然堤防 □砂州・砂丘 □後背湿地 □谷底低地 □氾濫平野 □旧河道 □三角州 □湿地 □干拓地 □盛土地 □埋立地 □その他（ 谷底平野 ）
	水路・河川		□水路・河川なし ■水路・河川あり（調査地より 1 m付近に幅 1.5 mの河川・水路）
敷地内観察	敷地履歴	現状	■整地 □既成宅地 □不整地の原野 □水田 □畑 □山林 □雑木林 □造成地 □解体後の更地 □解体中 □造成中 □駐車場 □その他（ ）
		前歴	□既成宅地 □原野 □水田 ■畑 □山林 □雑木林 □崖地 □河川敷 □河川 □池沼 □工場 □駐車場 □その他（ ）
	造成状況	盛土の有無	□盛土なし □盛土あり（ □1m未満 □1m以上 □2m以上 □切土・盛土が混在 ） ■不明
		切土の有無	■切土なし □切土あり（ □全面切土 □切土・盛土が混在 ） □不明
		盛土経過年数	□盛土なし □盛土あり （ □1年未満 □1年～3年未満 □3年～5年未満 □5年以上 □10年以上 ■不明 ）
		新規盛土の予定	□なし □あり（ □1m未満 □1～2m未満 □2m以上 ） ■不明
		地表面の状況	■更地 □雑草 □コンクリート敷 □砂利敷 □アスファルト □田んぼ □畑 □その他（ ）
		地表面の状態	■平坦 □起伏 □傾斜 □乾 □湿 □硬 □軟 □極軟 □その他（ ）
	既存建物状況	既存建物	■なし □あり（ 築年数 年 ）
		建物構造	□なし □木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
		階数	□なし □平屋 □2階建て □3階建て □その他（ ）
		建物基礎の亀裂	□亀裂なし □亀裂あり（ □少ない □多い ）
		建物外壁の亀裂	□亀裂なし □亀裂あり（ □少ない □多い ）
		建物の異常	□異常なし □異常あり
周辺観察	東側	高低差	□なし ■高低差（ -0.4 ）m
		隣地種別	□宅地 □店舗 □既存建物 □更地 □駐車場 ■道路 □水田 □畑 □雑木林 □果樹園 □河川 □水路 □池沼 □原野 □造成地 □その他（ ）
	西側	高低差	□なし ■高低差（ +0.6 ）m
		隣地種別	□宅地 □店舗 □既存建物 □更地 ■駐車場 □道路 □水田 □畑 □雑木林 □果樹園 □河川 □水路 □池沼 □原野 □造成地 □その他（ ）
	南側	高低差	□なし ■高低差（ -2.5 ）m
		隣地種別	□宅地 □店舗 □既存建物 □更地 □駐車場 □道路 □水田 □畑 □雑木林 □果樹園 □河川 ■水路 □池沼 □原野 □造成地 □その他（ ）
	北側	高低差	■なし □高低差（ ）m
		隣地種別	□宅地 □店舗 □既存建物 □更地 □駐車場 ■道路 □水田 □畑 □雑木林 □果樹園 □河川 □水路 □池沼 □原野 □造成地 □その他（ ）
施　工	施工支援	搬入障害	■なし □あり（ □道路幅狭い □カーブきつい □クレーン必要 □その他（ ））
		表層地盤状況	■異常なし □異常あり（ □表層軟弱 □雨天時は注意 □その他（ ））
		現場内高低差	■なし □あり （ □-2m以上 □-1m以上 □-1m以内 □-0.5m以内 □+0.5m以内 □+1m以内 □+1m以上 □+2m以上 □その他（ ））
		電線の有無	■なし □あり（ □部分的に障害になる □敷地内全体に障害になる ）
		スペース障害の有無	□なし ■あり（ □ヤード狭い □構造物あり □駐車スペースなし □その他（ ））
		その他	□現調不要 ■現調必要 □その他（ ）

備　考	

スクリューウエイト貫入試験方法

▶ スクリューウエイト貫入試験　概要

スクリューウエイト貫入試験は日本工業規格(JIS A 1221)
により規定された試験方法です。試験装置(手動･半自動･全自動)を
用いて、土の硬軟、締まり具合および土質の構成を判定します。



日東精工社製ジオカルテⅢ
(スクリューウエイト 自動貫入試験機)

▶ スクリューウエイト貫入試験　試験方法





ロッドの先端にスクリューポイントを取り付け、調査ポイントに地盤調査機を設置します。ロッドに6段階(0.05kN⇒0.15kN⇒0.25kN⇒0.5kN⇒0.75kN⇒1kN)で荷重(WSW)をかけていきスクリューポイントが沈んでいくかを測定します。
荷重のみを地盤にかけて沈んでいく層を自沈層と呼び、軟弱地盤の可能性があります。



100kgをかけても自沈しない場合、荷重は100kgのままロッドを右回転させ、25cm貫入させるのに要する半回転数(Na)を測定します。測定中はロッドから伝わる音や感触などの情報も記録します。



堅固層に到達した場合、回転貫入が不可能となりますので、ハンマーでロッドを打撃し貫入させます。地中障害物などによる貫入不可でないと確認ができたところで調査を終了します。

※地盤調査の終了条件は地盤調査会社により異なります。

▶ スクリューウエイト貫入試験　試験結果

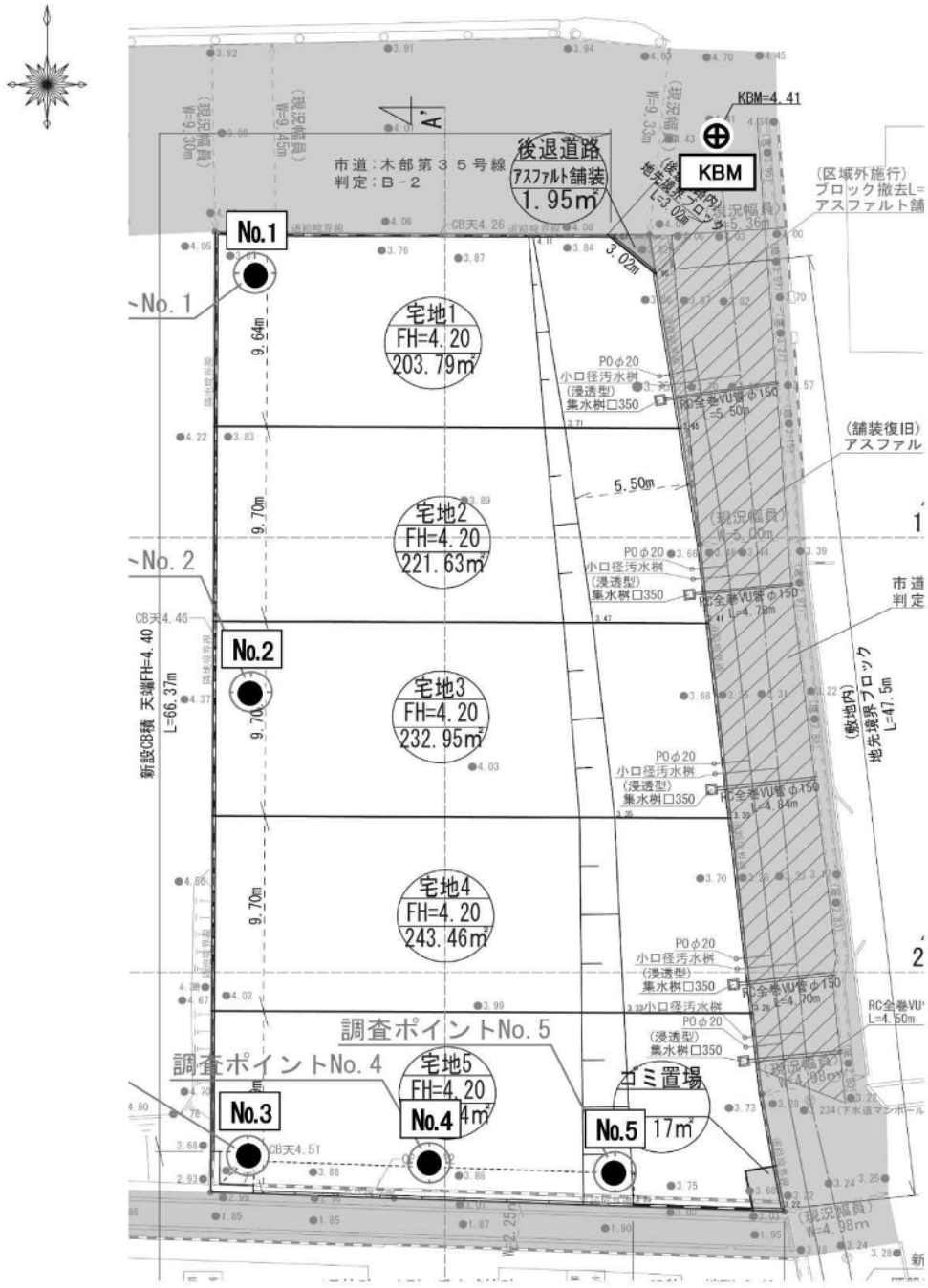
地盤調査データおよび推定土質により下記式にて換算Ｎ値を算定する。

換算N値(稲田式)	許容支持力（住宅地盤品質協会）
粘性土 ： N = 3 × Wsw + 0.05 × Nsw	qa = 30Wsw + 0.6 × Nsw (kN/m2)
砂質土 ： N = 2 × Wsw + 0.067 × Nsw	

Wsw：載荷荷重(kN)

Nsw：スクリューウエイト貫入試験における1.00mあたりの半回転数(回)

調査位置図

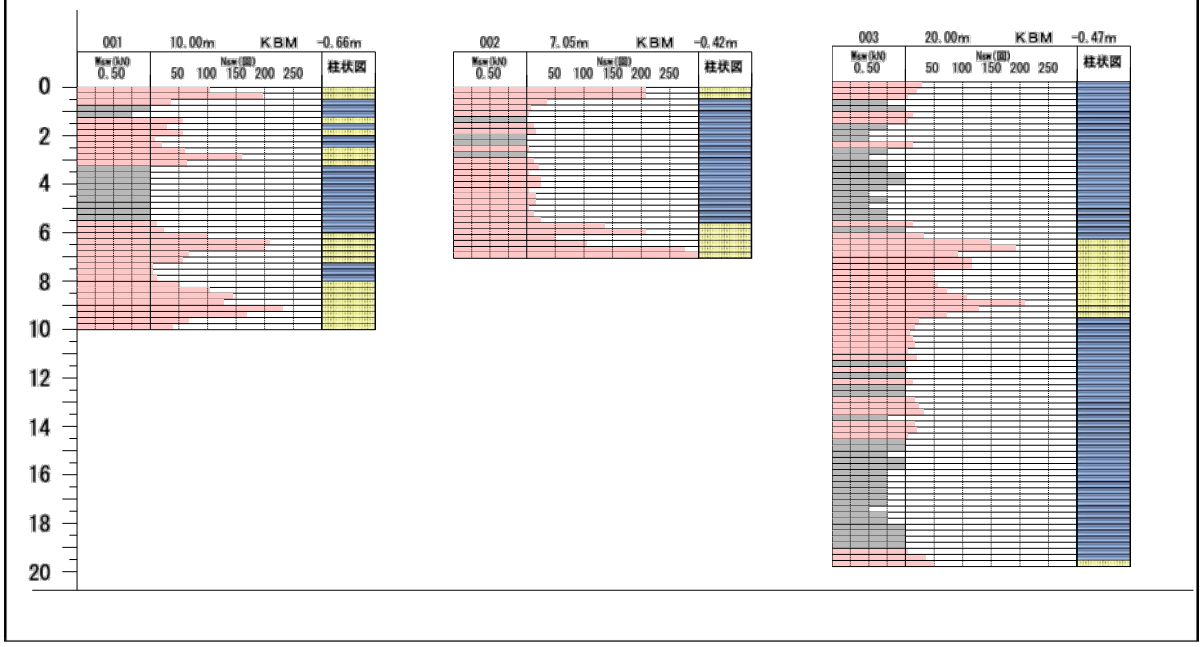


測点	KBMより
No.1	−0.66
No.2	−0.42
No.3	−0.47
No.4	−0.50
No.5	−0.65

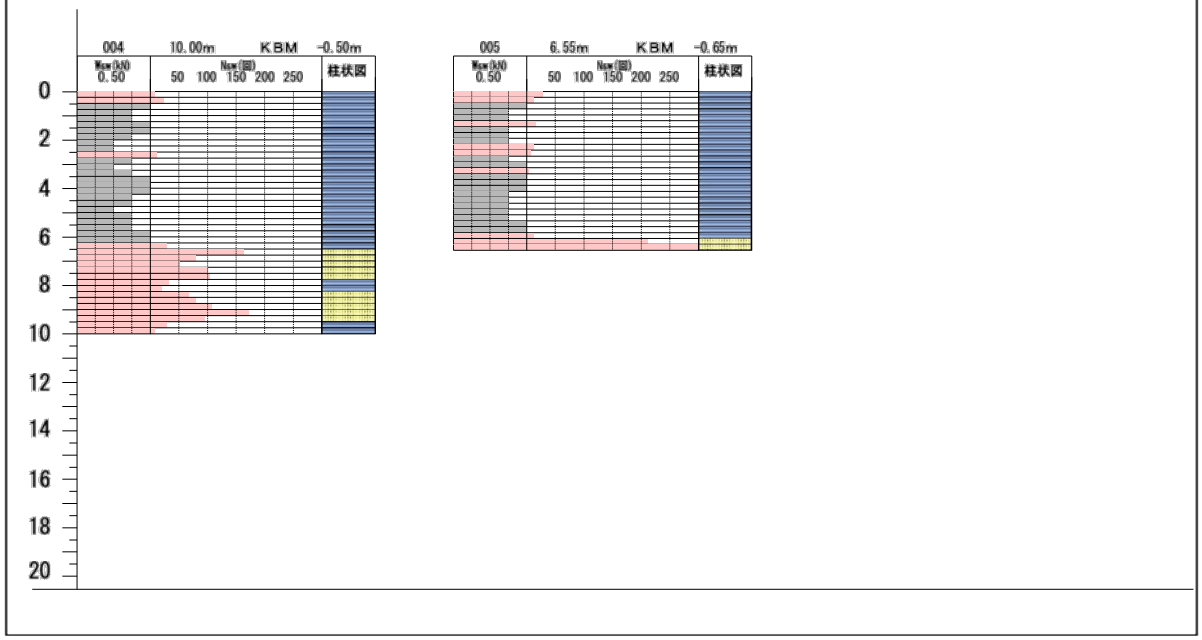
(単位：m)

断面図

No. 001–No. 002–No. 003



No. 004–No. 005



地盤の「見える化」

地盤調査データは測点により地盤の硬さにバラつきが出ることがあります。
お客様へ精度の高い提案を行うために、複数の調査ポイントを並べて確認することで、地盤の弱い層・強い層が現れる深度を確認します。

スクリューウエイト貫入試験結果

管理番号	260513-2	調 査 名	南区御幸木部一丁目造成工事に伴う地盤調査
調査住所	熊本県熊本市南区御幸木部1丁目地内	測点番号	001
試験深度	10.00 m	調 査 者	江藤　雄志
年 月 日	2026年05月13日	調査時刻	14:19 ～ 14:37
標　　高	KBM　-0.66m		
緯度･経度	北 緯： 03244.98000	東 経： 13042.81720	水　　位	孔内　GL-2.00 m
シリアル番号	本 体： 3G0490	制御装置： 3G0490	調査機器	ジオカルテ	天候	晴

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na (回)	1m当たり半回転数 Nsw (回)	記事 音･感触	記事 貫入状況	荷重 Wsw (kN) 0.05 0.25 0.50 0.75 1.00	貫入量1m当たりの半回転数 Nsw (回) 50 100 150 200 250 300	推定柱状図	推定水位 (m)	換算N値 (回)	換算qa (kN/㎡)
0.25	25	1.00	26	104	ガリガリ	強打撃貫入					8.9	92.4
0.50	25	1.00	49	196	ガリガリ	強打撃貫入					15.0	120.0
0.75	25	1.00	9	36							4.8	51.6
1.00	25	1.00	0	0		無回転急速					3.0	30.0
1.25	25	0.75	0	0							2.2	22.5
1.50	25	1.00	14	56							5.7	63.6
1.75	25	1.00	7	28							4.4	46.8
2.00	25	1.00	14	56						▽	5.7	63.6
2.25	25	1.00	2	8						▽	3.4	34.8
2.50	25	1.00	5	20							4.0	42.0
2.75	25	1.00	15	60	ガリガリ						6.0	66.0
3.00	25	1.00	40	160							12.7	120.0
3.25	25	1.00	16	64							6.2	68.4
3.50	25	1.00	0	0							3.0	30.0
3.75	25	1.00	0	0		無回転急速					3.0	30.0
4.00	25	1.00	0	0		無回転急速					3.0	30.0
4.25	25	1.00	0	0							3.0	30.0
4.50	25	1.00	0	0		無回転急速					3.0	30.0
4.75	25	1.00	0	0							3.0	30.0
5.00	25	1.00	0	0							3.0	30.0
5.25	25	1.00	0	0							3.0	30.0
5.50	25	1.00	0	0		無回転急速					3.0	30.0
5.75	25	1.00	3	12							3.6	37.2
6.00	25	1.00	6	24							4.2	44.4
6.25	25	1.00	25	100							8.7	90.0
6.50	25	1.00	52	208	ガリガリ						15.0	120.0
6.75	25	1.00	50	200	ガリガリ						15.0	120.0
7.00	25	1.00	17	68							6.5	70.8
7.25	25	1.00	14	56							5.7	63.6
7.50	25	1.00	1	4							3.2	32.4
7.75	25	1.00	1	4							3.2	32.4
8.00	25	1.00	3	12							3.6	37.2
8.25	25	1.00	13	52							5.4	61.2
8.50	25	1.00	26	104							8.9	92.4
8.75	25	1.00	36	144	ガリガリ						11.6	116.4
9.00	25	1.00	32	128							10.5	106.8
9.25	25	1.00	58	232	ガリガリ						15.0	120.0
9.50	25	1.00	42	168	ガリガリ						13.2	120.0
9.75	25	1.00	17	68	ガリガリ						6.5	70.8
10.00	25	1.00	10	40							4.6	54.0

土質凡例　粘性土　砂質土　：回転層　：自沈層

スクリューウエイト貫入試験結果

管理番号	260513-2	調 査 名	南区御幸木部一丁目造成工事に伴う地盤調査
調査住所	熊本県熊本市南区御幸木部1丁目地内	測点番号	002
試験深度	7.05 m	調 査 者	江藤　雄志
年 月 日	2026年05月13日	調査時刻	14:51 ～ 15:05
標　　高	KBM　-0.42m		
緯度･経度	北 緯： 03244.96780	東 経： 13042.81630	水　　位	孔内　GL-2.00 m
シリアル番号	本 体： 3G0490	制御装置： 3G0490	調査機器	ジオカルテ	天候	晴

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na (回)	1m当たり半回転数 Nsw (回)	記事 音･感触	記事 貫入状況	荷重 Wsw (kN) 0.05 0.25 0.50 0.75 1.00	貫入量1m当たりの半回転数 Nsw (回) 50 100 150 200 250 300	推定柱状図	推定水位 (m)	換算N値 (回)	換算 qa (kN/㎡)
0.25	25	1.00	52	208	ガリガリ	強打撃貫入					15.0	120.0
0.50	25	1.00	52	208	ガリガリ	強打撃貫入					15.0	120.0
0.75	25	1.00	9	36							4.8	51.6
1.00	25	1.00	2	8							3.4	34.8
1.25	25	1.00	1	4							3.2	32.4
1.50	25	1.00	0	0							3.0	30.0
1.75	25	1.00	3	12							3.6	37.2
2.00	25	1.00	4	16						▽	3.8	39.6
2.25	25	1.00	0	0		無回転急速				▽	3.0	30.0
2.50	25	1.00	0	0							3.0	30.0
2.75	25	1.00	1	4							3.2	32.4
3.00	25	1.00	0	0							3.0	30.0
3.25	25	1.00	3	12							3.6	37.2
3.50	25	1.00	5	20							4.0	42.0
3.75	25	1.00	1	4							3.2	32.4
4.00	25	1.00	6	24							4.2	44.4
4.25	25	1.00	6	24							4.2	44.4
4.50	25	1.00	1	4							3.2	32.4
4.75	25	1.00	4	16							3.8	39.6
5.00	25	1.00	4	16							3.8	39.6
5.25	25	1.00	1	4							3.2	32.4
5.50	25	1.00	3	12							3.6	37.2
5.75	25	1.00	6	24							4.2	44.4
6.00	25	1.00	34	136							11.1	111.6
6.25	25	1.00	52	208	ガリガリ						15.0	120.0
6.50	25	1.00	12	48							5.2	58.8
6.75	25	1.00	26	104							8.9	92.4
7.00	25	1.00	69	276							15.0	120.0
7.05	5	1.00	19	380	ガリガリ	強打撃貫入					15.0	120.0

土質凡例　粘性土　砂質土

：回転層
：自沈層

スクリューウエイト貫入試験結果

管理番号	260513-2	調 査 名	南区御幸木部一丁目造成工事に伴う地盤調査
調査住所	熊本県熊本市南区御幸木部1丁目地内	測点番号	003
試験深度	20.00 m	調 査 者	江藤　雄志
年 月 日	2026年05月13日	調査時刻	15:22 ～ 15:50
標　　高	KBM　-0.47m		
緯度･経度	北 緯： 03244.95990	東 経：	13042.81820
水　　位	孔内　GL-2.00 m		
シリアル番号	本 体： 3G0490	制御装置：	3G0490
調査機器	ジオカルテ	天候	晴

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na (回)	1m当たり半回転数 Nsw (回)	記事 音･感触	記事 貫入状況	荷重 Wsw (kN) 0.05 0.25 0.50 0.75 1.00	貫入量1m当たりの半回転数 Nsw (回) 50 100 150 200 250 300	推定柱状図	推定水位 (m)	換算N値 (回)	換算 qa (kN/㎡)
0.25	25	1.00	7	28							4.4	46.8
0.50	25	1.00	5	20							4.0	42.0
0.75	25	1.00	1	4							3.2	32.4
1.00	25	0.75	0	0							2.2	22.5
1.25	25	1.00	0	0							3.0	30.0
1.50	25	1.00	3	12							3.6	37.2
1.75	25	1.00	1	4							3.2	32.4
2.00	25	0.75	0	0						▽	2.2	22.5
2.25	25	0.50	0	0						▽	1.5	15.0
2.50	25	0.50	0	0							1.5	15.0
2.75	25	1.00	3	12							3.6	37.2
3.00	25	0.75	0	0							2.2	22.5
3.25	25	0.50	0	0							1.5	15.0
3.50	25	0.75	0	0							2.2	22.5
3.75	25	0.75	0	0							2.2	22.5
4.00	25	1.00	0	0							3.0	30.0
4.25	25	1.00	0	0							3.0	30.0
4.50	25	0.75	0	0							2.2	22.5
4.75	25	0.50	0	0		無回転緩速					1.5	15.0
5.00	25	0.75	0	0							2.2	22.5
5.25	25	0.50	0	0							1.5	15.0
5.50	25	0.75	0	0		回転急速					2.2	22.5
5.75	25	0.75	0	0							2.2	22.5
6.00	25	1.00	3	12							3.6	37.2
6.25	25	1.00	0	0							3.0	30.0
6.50	25	1.00	8	32							4.6	49.2
6.75	25	1.00	37	148							11.9	118.8
7.00	25	1.00	48	192							14.8	120.0
7.25	25	1.00	23	92							8.1	85.2
7.50	25	1.00	29	116	ガリガリ						9.7	99.6
7.75	25	1.00	29	116							9.7	99.6
8.00	25	1.00	12	48							5.2	58.8
8.25	25	1.00	12	48							5.2	58.8
8.50	25	1.00	14	56							5.7	63.6
8.75	25	1.00	18	72	ガリガリ						6.8	73.2
9.00	25	1.00	27	108							9.2	94.8
9.25	25	1.00	52	208	ガリガリ						15.0	120.0
9.50	25	1.00	32	128	ガリガリ						10.5	106.8
9.75	25	1.00	18	72							6.8	73.2
10.00	25	1.00	6	24							4.2	44.4

土質凡例　粘性土　砂質土

：回転層
：自沈層

スクリューウエイト貫入試験結果

管理番号	260513-2	調 査 名	南区御幸木部一丁目造成工事に伴う地盤調査
調査住所	熊本県熊本市南区御幸木部1丁目地内	測点番号	003
試験深度	20.00 m	調 査 者	江藤　雄志
年 月 日	2026年05月13日	調査時刻	15:22 ～ 15:50
標　　高	KBM　-0.47m		
緯度･経度	北 緯： 03244.95990	東 経： 13042.81820	水　　位	孔内　GL-2.00 m
シリアル番号	本 体： 3G0490	制御装置： 3G0490	調査機器	ジオカルテ	天候	晴

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na (回)	1m当たり半回転数 Nsw (回)	記事 音･感触	記事 貫入状況	荷重 Wsw (kN) 0.05 0.25 0.50 0.75 1.00	貫入量1m当たりの半回転数 Nsw (回) 50 100 150 200 250 300	推定柱状図	推定水位 (m)	換算N値 (回)	換算 qa (kN/㎡)
10.25	25	1.00	4	16							3.8	39.6
10.50	25	1.00	2	8							3.4	34.8
10.75	25	1.00	3	12							3.6	37.2
11.00	25	1.00	4	16							3.8	39.6
11.25	25	1.00	1	4							3.2	32.4
11.50	25	1.00	5	20							4.0	42.0
11.75	25	1.00	0	0							3.0	30.0
12.00	25	1.00	1	4							3.2	32.4
12.25	25	1.00	0	0		無回転急速					3.0	30.0
12.50	25	1.00	3	12							3.6	37.2
12.75	25	1.00	0	0							3.0	30.0
13.00	25	1.00	0	0							3.0	30.0
13.25	25	1.00	4	16							3.8	39.6
13.50	25	1.00	6	24							4.2	44.4
13.75	25	1.00	8	32							4.6	49.2
14.00	25	0.75	0	0							2.2	22.5
14.25	25	1.00	4	16							3.8	39.6
14.50	25	1.00	5	20							4.0	42.0
14.75	25	1.00	1	4							3.2	32.4
15.00	25	1.00	0	0							3.0	30.0
15.25	25	1.00	0	0							3.0	30.0
15.50	25	0.75	0	0							2.2	22.5
15.75	25	1.00	0	0		無回転急速					3.0	30.0
16.00	25	1.00	0	0		無回転急速					3.0	30.0
16.25	25	0.75	0	0		回転急速					2.2	22.5
16.50	25	0.75	0	0							2.2	22.5
16.75	25	0.75	0	0		回転急速					2.2	22.5
17.00	25	0.75	0	0		回転急速					2.2	22.5
17.25	25	0.75	0	0							2.2	22.5
17.50	25	0.75	0	0							2.2	22.5
17.75	25	0.50	0	0							1.5	15.0
18.00	25	0.75	0	0		回転急速					2.2	22.5
18.25	25	0.75	0	0		回転急速					2.2	22.5
18.50	25	1.00	0	0							3.0	30.0
18.75	25	1.00	0	0		回転急速					3.0	30.0
19.00	25	1.00	0	0		回転急速					3.0	30.0
19.25	25	1.00	0	0		回転急速					3.0	30.0
19.50	25	1.00	1	4							3.2	32.4
19.75	25	1.00	9	36							4.8	51.6
20.00	25	1.00	12	48	ガリガリ						5.2	58.8

土質凡例　粘性土　砂質土

：回転層
：自沈層

スクリューウエイト貫入試験結果

管理番号	260513-2	調 査 名	南区御幸木部一丁目造成工事に伴う地盤調査
調査住所	熊本県熊本市南区御幸木部1丁目地内	測点番号	004
試験深度	10.00 m	調 査 者	江藤　雄志
年 月 日	2026年05月13日	調査時刻	16:13 ～ 16:27
標　　高	KBM　-0.50m		
緯度･経度	北 緯： 03244.95600	東 経： 13042.82350	水　　位	孔内　GL-2.00 m
シリアル番号	本 体： 3G0490	制御装置： 3G0490	調査機器	ジオカルテ	天候	晴

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na (回)	1m当たり半回転数 Nsw (回)	記事 音･感触	記事 貫入状況	荷重 Wsw (kN) 0.05 0.25 0.50 0.75 1.00	貫入量1m当たりの半回転数 Nsw (回) 50 100 150 200 250 300	推定柱状図	推定水位 (m)	換算N値 (回)	換算 qa (kN/㎡)
0.25	25	1.00	2	8							3.4	34.8
0.50	25	1.00	6	24							4.2	44.4
0.75	25	1.00	0	0							3.0	30.0
1.00	25	0.75	0	0							2.2	22.5
1.25	25	0.75	0	0							2.2	22.5
1.50	25	1.00	0	0							3.0	30.0
1.75	25	1.00	0	0							3.0	30.0
2.00	25	0.75	0	0						▽	2.2	22.5
2.25	25	0.50	0	0						▽	1.5	15.0
2.50	25	0.50	0	0							1.5	15.0
2.75	25	1.00	3	12							3.6	37.2
3.00	25	0.75	0	0							2.2	22.5
3.25	25	0.50	0	0		回転緩速					1.5	15.0
3.50	25	0.75	0	0							2.2	22.5
3.75	25	1.00	0	0							3.0	30.0
4.00	25	1.00	0	0							3.0	30.0
4.25	25	1.00	0	0							3.0	30.0
4.50	25	0.75	0	0							2.2	22.5
4.75	25	0.75	0	0		無回転急速					2.2	22.5
5.00	25	0.50	0	0							1.5	15.0
5.25	25	0.75	0	0							2.2	22.5
5.50	25	0.75	0	0		回転急速					2.2	22.5
5.75	25	0.75	0	0		回転急速					2.2	22.5
6.00	25	1.00	0	0		無回転急速					3.0	30.0
6.25	25	1.00	0	0							3.0	30.0
6.50	25	1.00	7	28							4.4	46.8
6.75	25	1.00	41	164							12.9	120.0
7.00	25	1.00	20	80							7.3	78.0
7.25	25	1.00	13	52							5.4	61.2
7.50	25	1.00	25	100							8.7	90.0
7.75	25	1.00	26	104	ガリガリ	強打撃貫入					8.9	92.4
8.00	25	1.00	8	32							4.6	49.2
8.25	25	1.00	5	20							4.0	42.0
8.50	25	1.00	17	68	ガリガリ						6.5	70.8
8.75	25	1.00	20	80							7.3	78.0
9.00	25	1.00	27	108	ガリガリ						9.2	94.8
9.25	25	1.00	43	172	ガリガリ						13.5	120.0
9.50	25	1.00	24	96	ガリガリ						8.4	87.6
9.75	25	1.00	7	28							4.4	46.8
10.00	25	1.00	2	8							3.4	34.8

土質凡例　粘性土　砂質土

：回転層
：自沈層

スクリューウエイト貫入試験結果

管理番号	260513-2	調 査 名	南区御幸木部一丁目造成工事に伴う地盤調査
調査住所	熊本県熊本市南区御幸木部1丁目地内	測点番号	005
試験深度	6.55 m	調 査 者	江藤　雄志
年 月 日	2026年05月13日	調査時刻	16:37 ～ 16:46
標　　高	KBM　-0.65m		
緯度･経度	北 緯： 03244.95790	東 経： 13042.82760	水　　位	孔内　GL-2.00 m
シリアル番号	本 体： 3G0490	制御装置： 3G0490	調査機器	ジオカルテ	天候	晴

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na (回)	1m当たり半回転数 Nsw (回)	記事 音･感触	記事 貫入状況	荷重 Wsw (kN) 0.05 0.25 0.50 0.75 1.00	貫入量1m当たりの半回転数 Nsw (回) 50 100 150 200 250 300	推定柱状図	推定水位 (m)	換算N値 (回)	換算 qa (kN/㎡)
0.25	25	1.00	7	28							4.4	46.8
0.50	25	1.00	3	12							3.6	37.2
0.75	25	1.00	0	0		無回転急速					3.0	30.0
1.00	25	0.75	0	0							2.2	22.5
1.25	25	0.75	0	0							2.2	22.5
1.50	25	1.00	4	16							3.8	39.6
1.75	25	0.75	0	0							2.2	22.5
2.00	25	0.75	0	0		回転急速				▽	2.2	22.5
2.25	25	0.75	0	0						▽	2.2	22.5
2.50	25	1.00	3	12							3.6	37.2
2.75	25	1.00	2	8							3.4	34.8
3.00	25	0.75	0	0							2.2	22.5
3.25	25	1.00	0	0							3.0	30.0
3.50	25	1.00	1	4							3.2	32.4
3.75	25	1.00	0	0							3.0	30.0
4.00	25	1.00	0	0							3.0	30.0
4.25	25	1.00	0	0							3.0	30.0
4.50	25	0.75	0	0							2.2	22.5
4.75	25	0.75	0	0							2.2	22.5
5.00	25	0.75	0	0							2.2	22.5
5.25	25	0.75	0	0							2.2	22.5
5.50	25	0.75	0	0		無回転緩速					2.2	22.5
5.75	25	1.00	0	0							3.0	30.0
6.00	25	1.00	0	0							3.0	30.0
6.25	25	1.00	3	12							3.6	37.2
6.50	25	1.00	53	212	ガリガリ						15.0	120.0
6.55	5	1.00	23	460	ガリガリ	強打撃貫入					15.0	120.0

土質凡例　粘性土　砂質土

：回転層
：自沈層

現場写真

2026/05/13 13:33:02.799 N(3244.980818) E(13042.832452)



調査-1	全景

2026/05/13 13:33:24.799 N(3244.981904) E(13042.817218)



調査-2	全景

2026/05/13 13:33:56.799 N(3244.9823) E(13042.827238)



調査-3	敷地北側

2026/05/13 13:34:04.799 N(3244.981964) E(13042.828216)



調査-4	敷地東側

2026/05/13 15:30:02.127 N(3244.956242) E(13042.817182)



調査-5	敷地南側

2026/05/13 14:14:30.801 N(3244.978154) E(13042.816738)



調査-6	敷地西側

現場写真



調査-7	前面道路



調査-8	スクリューポイント



調査-9	測点No. 1



調査-10	測点No. 2



調査-11	測点No. 3



調査-12	測点No. 4

現場写真



調査-13	測点No. 5



調査-14	水位観測状況



調査-15	作業後状況



調査-16	作業後状況



調査-17	KBM近景



調査-18	KBM遠景